京城日報

THE KEIJO NIPPO

大正十三年二月二十九日（金曜日） 第五千八百三十七號 （一）

（大正十三年二月二十八日第三種郵便物認可）

二十七日夕刊

本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 光化門 [illegible] 番
振替 京城三〇〇番

火保援助の緊急處分は不當
特別議會まで待てよと樞府の意嚮を政府に傳ふ

【東京電報】二十七日午後二時樞密院一木正副議長は閣議中の清浦首相を官邸に訪ひ樞府側の意嚮を傳へたが其内容は左の如きものであると

樞府は火保援助問題につき種々協議したが此の際緊急處分を以て之を解決するは當を得たものでない電に角閣僚の意嚮が一致したので政府でも此の點を諒とせられたい理由は現在の火保解決案の内容は多少相違はあるが其趣旨の根本は前內閣案と異なる所なく殊に特別議會を待ち完全なる法律案を議會に提出して協贊を經た後實行するが當を得たものであつて斯かる明白な理由の下に政府は緊急處分に出でんとするは憲法運用上の惡例を將來に遺すが如き結果を生ずるに至るものであると

首相の態度強硬
樞府の意嚮に拘束されずして既定の方針で邁進

【東京電報】火保案に對する樞密院側の空氣は必ずしも政府側の要求と一致せず寧ろ險惡の徴ありと見られてゐるが清浦首相は何等樞府の意嚮に耳を傾けず樞府を向うに廻して既定の方針で邁進すると云ふ

護憲三派中の法律家が三十名程集合して共同措置を協議することに決した

三派領袖會見

【東京電報】政憲兩黨領袖は來る一日午後六時から赤坂の高陽政友會總裁邸に會合し憲政派よりは若槻、濱口、下岡、頼母木、三木、小泉（又）政友派よりは小川、野田、望月、武藤、原田、島田、小泉（策）諸氏出席時局に關する政策問題に付いて隔意なき協議を遂ぐる筈であるが翌二日は革新派犬養、古島、秋田、大竹の諸氏と憲政政友會の諸氏が會合協議することゝなつた

臨時閣議
火保問題協議

【東京電報】二十七日の臨時閣議は午後一時より首相官邸に開會火保問題につき協議したが結局財政上の處分についての緊急勅令案一件のみを公布することに決定した次いで松井外相より對露外交の報告あり六時半散會した

憲政會の選擧對策
既定政策の趣旨敷衍に努力する

【東京電報】憲政會最高幹部會は二十七日午後七時より總裁邸で加藤總裁始め各幹部出席し來るべき總選擧に關し種々協議の結果左の申合せを爲し十一時散會した

我黨の大會に於て決定したる政策は其大綱を掲ぐるに止まるを以て茲に今回の選擧戰に臨むに當り既定政策の趣旨を敷衍し其内容を說明して以て我黨の主張の存する所を普く全國に徹底せしむることゝす

政友の選擧對策
全國遊說隊組織

【東京電報】既報の如く政友會は二十七日午後二時から本部に幹部會を開き選擧對策につき協議した結果

一、近く遊說班を組織して陣營を整へること
二、政務調査項目については幹部の手許にて整理すること
三、各地から選擧戰調査につき奇怪なる報告を聞く之は野黨裁官界に一任して速かに調査を遂げること

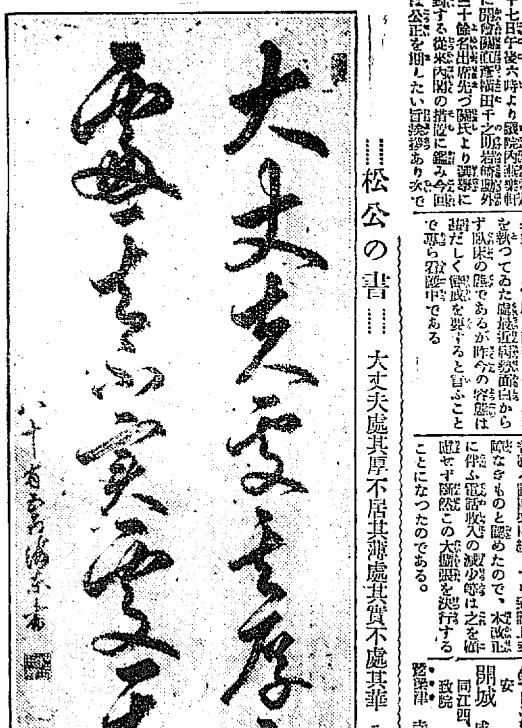
とし取敢ず二十七日午後五時から

選擧取締監視
全國的に連絡を保つと在野法曹協議會で申合

【東京電報】在野法曹協議會は二十七日午後六時より議院內に開會原嘉道、塚田千之助、岩崎勲外三十餘名出席先づ議長より選擧に對する從來內閣の措置に鑑み今回は公正を期したい旨挨拶あり次で植田氏は在野法曹の傍觀すべきでないと說き協議の末選擧に對する官憲の態度を嚴重に監視し選擧の自由公正を期する目的を達する爲委員を擧げ全國的に連絡を保つとの意味を申合せ午後八時半散會した

海相の肺患昂進
專ら警戒看護中

【東京電報】村上海相は豫てより肺に疾患があつたが大臣就任以來職務に服した爲め近來病勢が少し昂進したが官邸で靜養の傍ら事務を執つてゐた處最近病勢面白からず臥床の態であるが昨今の容態は甚だしく警戒を要すると言ふことで專ら靜養中である



……松公の書…… 大丈夫處其厚不居其薄處其實不居其華 八十有五翁海東書（即ち五年前の書）

松方公の不思議な恢復
家族の悲愁が誤傳の基 三浦博士も公の體質に驚く

【東京電報】二十七日午後二時松方公の病狀全く危篤に陷つたゝめ家人は此の時始めて內閣に向け重態と報告し宮內省からも德川侍從長西川侍醫を御見舞として御差遣なることゝなつた又二十餘名の近親者は總て枕頭に集り永別を惜しんだのであつたが極めて逝去を傳へられたのであるが其後蘇生して又復多少意識を快復し聲も出て來て二十八日朝まで存命して居らるゝ次第である老公の不思議な體質には三浦博士も驚いてゐる

今朝の容態

【興津電報】不思議に甦へつた松方公二十八日朝の病狀は體溫三十八度七分、脈搏七十六、呼吸三十でカンフル注射と酸素吸入を行ひ同時に近親一同を枕邊に呼び集めてゐるが愈臨終を告げつゝあるのではないかと思はれる

勅使差遣

【興津電報】二十八日午前十時半沼津から德川侍從長は引き續りの勅使として西川侍醫を從へ松方公を見舞はれた

松公愈よ薨去か

【興津急電報】松方公は廿八日午前十一時愈々薨去と推測され西園寺公は腕車で駈けつけた

松方老公爵
この噂は屢ぶ

松方老公は客年九月の震災の時鎌倉の別莊で倒潰家屋の下敷となり壓死されたと傳へられたものだ。然るにその公爵の逝去は後で噂であつたのである。よく一つあることは二つあると云ふこんどの公爵の逝去も噂であつた。物故した者の內にも逝去の噂が傳はつたことがある。しかし決していゝことではない。しかし、老公の逝去の噂であつたことは屢ぶ。

農家に於て最も重要なる資源は養蠶（上）
道蠶業技術官會同に於ける 有吉政務總監の訓示

去る二十日より六日間本府第一會議室に於て開催した有吉總監の會議席上に於ける訓示は左の如くである

朝鮮の農家の狀態は諸君の御承知の通り非常に悲慘の樣子であります之が內地の農家の狀態を外の文明諸國の農家に比べると非常に貧弱な感じを有つのであります併し尚其の貧弱な內地の農家に比べても朝鮮の農家の狀態は殊に著しく劣つて居るやうに見えるのであります是は諸君の御承知の通りで結局民度の低いことを證明するのであります、どうかして我々はせめては之が內地位の程度迄に一日も早くしてやりたいと思ひます、亦內地の農家もどうかもう少し此の狀態が改善して行くことを我々は常に望んで居るのであります、斯う云へば此の民度を高めて農家の狀態を改善するにはどうするか、斯うなれば勿論農家の生產の要素を多くすると云ふことを努めると云ふことが必要でありますが併し其の在る要素の利用を更に能く高めるやうにしてやると云ふことが又一層肝要かと思ひます、現在の農家の最大生產要素となつて居る土地と云ふものゝ生產額を比較して見ても內地と朝鮮とに於ては非常に收穫上に差異のあることも御承知の通りであります、其の生產額に於て差異のある如く農家一戶を標準として見ても全く其の生產額を比較して見ると之亦非常な開きが內地と朝鮮との農家にあるのであります、さう云ふ違ひが何處から生じて來るかと云ふと全く農家が副業をやるかやらぬかと云ふことから起るのであります、此の副業の獎勵と云ふことは總督府に於ても施政以前當時より努めて居るのでありまして、段々之も進んで參りまして蠶業の進步は非常なものであります、昨日も定めし殖產局長より話されたことゝ思ひますが、施政の當時には養蠶戶數が七萬戶位であつたものが昨年は四十萬戶と收繭額が一萬四千石であつたのが昨年は二十萬石を突破して居る、價額に於て四十三萬圓位の見當であつたものが千七百萬圓位の見當迄進んで居る、又戶數の割合から言つても農家全體の戶數に對して養蠶をして居るものが三分一迄になつたものが一割一分六厘の戶數の割合になつて居る、僅か十三四年間の事實としては長足の進步をしたとは云ふものゝ專ら指導獎勵をしたと云ふものの道に於ける當局者が總督府の意思を體して非常に熱誠努力せられた結果であると考へ諸君の努力は深く謝意を表するのであります。

此處に於て諸君の注意を求めて置きたいとは道の當局は非常に熱心であるが、郡の當局や面の當局には熱が其處迄進まずに行くか行かぬか分多いやうである、從つて之が面に移ると今度は更に冷めて行くのではないかと思はれる點があります、そこで今日の勢に發達が今後に長足の進步ではありますが併しはまだ朝鮮全體の天然から考へれば之で內地に於ける養蠶業の盛んなる一般には未だ遠く及ばない位の有樣でありますから殆ど內地の三分の二の面積を有つて居る朝鮮としては更に微々たるものであると申さなければならぬのでありまして、之を一層普及し盛んならしめると云ふことに就ては一般に是は各地方の當局が力を用ひて貰はなければならぬと思つて居る次第であります。其の力を用ひらるゝに就ては道の當局の熱心をどうか郡の當局にもそれに劣らぬ熱心を有たせる樣にしたい、又面の人々にもそれだけの熱心を有たせる樣にして行かなければならぬ、併しながら斯樣なることを一足飛びに皆內地の進んだ機關が働くが如くに活動させる樣と言つても、それは難しいことでありますから、先づ諸君の所から其の機關を示されて假令一時でも諸君の足跡の到つた所にはそれだけ何かの効果が現はれたと云ふことで進んで行くと云ふ程りで獎勵を加へて貰ひたいと思ふのであります、併し尚郡並に面の人々にも篤と能く之等の趣旨を了解させる樣にして熱心を振るひ興させると云ふことを努めて貰ふことは最も大切なことゝ考へます、どうぞ其の點を能く御考へを願ひたいと思ひます

便利になる市外電話
收入減少をも顧みず四月から普通々話區域擴張

京城市外電話普通通話區域が來る四月一日から擴張されることになつて居るが、右につき遞信當局は大様左の如き說を試みた

來る四月一日から從來の長距離通話區域の中左の區域を普通々話區域に編入せられたが、元來長距離區間の通話は、特別の設備を要さねば通話が困難であるから長距離通話區域を定め、其區間の通話を處し得る者は、即ち長距離電話加入者のみで、其他加入者の電話に對しては特別の裝置をする關係上、一定の料金を徴してある次第であるが、長距離加入電話以外の加入者は長距離通話が出來ないので自然不便を免れなかつた次第である そこで出來得る限り普通々話區域を擴張して欲しい、と一般加入者殊に繁劇なる取引に從事する加入者には、非常なる福音であつて、延いて各地商業の進展上にも又與つて効果あるものと信ずる云々

京城 元山、同大田、同江景、同清州、同瓶窯、同沙里院、同安岳、同信川、同群山、同全州、同沃川、同永同、同平澤、同中和、同寺洞、同鎭南浦

仁川 大田、同清州、同瓶窯、同沙里院、同安岳、同信川、同江景、同平澤、同群山、同元山、同中和、同寺洞

平壤 鎭南浦、同永登浦、同開城、同海州、同延安、同瓮津、同土城、同興德、同新義州、同白川

海州 同延安

江西 海州、同延安

江景 大邱、同金山、同永登浦

江界 昌城、同朔州、同清城鎭

慈城 昌城、同碧潼

大邱 公州、同群山、同全州

大田 金山、同馬山、同木浦

鎭南浦 開城、同海州、同延安

開城 成川、同中和、同江東、同鳥致院、同江西、同寺洞、同大田、同黄州、同載寧

兼二浦 寺洞、同大田、同黄州、同

同鎭南浦、同永登浦

載寧 寺洞、同黄州、同瓶窯、同沙里院、同安岳、同信川

新義州 同中和

義州 滿浦鎭、同楚山、同渭原

高山鎭 滿浦鎭

楚山 滿浦鎭

永登浦 寺洞、同黄州、同瓶窯

同沙里院、同安岳、同信川

新義州 高山鎭、同滿浦鎭

清城鎭 同渭原

中和 鎭南浦、同永登浦、同水原、同

江界 新義州、同碧潼

朝鮮の實情を說き其の理解を促す（四）
併合後の驚異すべき發達

警務局長 丸山鶴吉

此頃は朝鮮の人々にお目に懸り、種々お話しを申し上げるときに、朝鮮の人が併合は朝鮮人の輿論ではない、希望ではない、唯其當時の當路者と、そうして或る爲政者が腐敗墮落をして居つた爲に夫等の者に依りて唯恣に朝鮮人の爲めにやられたのである、斯う云ふことを主張されるのでありますけれども其の併合と云ふことに就ても當時の狀勢を靜かに考へて見まするとはしかし大勢上止むを得ざる事であると思ふ、內地に於きましても就任すると今日斯くの如き厄介な、仕方のない朝鮮を併合したのであるか、斯樣なものを併合してこれに年々歳々多額の金を注ぎ込んで如何するのだ、實に馬鹿らしい政策を日本がやつたものであると、斯う云つて攻擊をする人もある、けれども之に對すると、は併合當時の大勢上止むを得ない一の結果であつて、朝に繼續とし明治四十三年に此の併合と云ふものが行はれた、さうして茲に始めて一視同仁の大帝の御詔勅を戴きまして朝鮮の人の爲に、日本の人の爲にも、東洋永遠の平和の爲にも、尚進んで東洋の併合をして其の結果を善くしなければならぬと云ふことになつた斯う云ふ有難い御詔勅を戴いたのでお互は其方針に振り此の朝鮮問題につき今日まで努力を致して居る次第であります。

◇

斯くして併合を遂行せられましてより今日で既に十有四年であります。總て考へて見ますれば其間の朝鮮文物の進步と云ふものは實に驚くべきものであります。して之れを私が一々數字に擧げたり或は統計に振つたりして、皆さんにお話しを申上げることは其の煩ひを避けるのでありますけれども、この朝鮮が併合以來物質的に非常なる發達をしたと云ふ事は單り內地人がさう言ふばかりでなく、朝鮮の人々も何人といへども此の事實を否むものはない。確かに朝鮮の物質的文化は進步し文明は輸入された、總ての交通機關は發達し、又教育機關も整ひ、普く教育は普及せられて來た、これは啻に朝鮮の人々が喜ぶのみならず諸外國の人達も均しく斯の如き狀態にある幾多の機關を調査し、殊に朝鮮に來まして政治家にしましても物質上の進步を致して居ることに驚くべき此の朝鮮の現時日の間に驚くべき事實としては之も何人も否んだ者はない。

◇

亞米利加の通り朝鮮に於ける亞米利加の宣教師の往々誤りたる報告に依りまして、一時亞米利加に於ては日本の所謂朝鮮統治と云ふものに對して非常に反對の聲が旺に擧つた事がありますけれども其亞米利加の人と雖も朝鮮の物質文明が段々向上されて來て、さうして著るしく進步を來して居ると云ふことに對しては決してこれを否むで居らない。

◇

朝鮮に於ける古い時代の學校即ち國民に教育を施すべき機關と云ふものは今でも存在して居りますが、殆んど寺小屋式のものであります、日本でも古い時代は寺小屋でありましたけれども、それがもう今日では立派な學校と云ふものが出來て既に小學校、即ち初等教育程度のものだけでも千四百五十餘を算ふるに至り完全なる組織の教育と云ふものが段々普及して參りました、經濟の方から申しましても併合當時の輸移出入總額と云ふものはさう多くの額ではない、僅かに三億圓に過ぎなかつた、然るに今日では生產總額は十四五億圓、輸移出入總額は四億七千萬圓を算するのであります。この其のものを稱へて見まするに併合當時と比較しますれば或は五倍或は六倍八倍、甚だしきものに至りましては十數倍の增加を示して居りまして非常な勢ひを以て朝鮮には富が殖え文明の程度が進んで來て居ります。

京畿人口戶數

京畿道管內に於ける大正十二年末の現在戶數は三十六萬六千百六十三戶で、人口は百八十五萬六千十八人である、之を前年同期に比較すれば、戶數に於て八千七百五十二戶、人口に於て三萬二千七百七十人の增加を示して居る、今之を國籍別に示せば左の如くである

	內地人	朝鮮人	支那人
戶數	[illegible]	[illegible]	[illegible]
男	四三、六三三	八六六、〇三三	六、九六六
女	四四、〇五六	八〇九、一四〇	九〇〇
計	一〇三、四三四	一、七八六、二二九	七、八六六

其他外國人は戶數一九八戶男女合計五百七十三名に達してゐる

竹上師團長官民招待

【羅南特電】竹上第十九師團長は來る一日羅南俱樂部に官民多數を招待し旅行社に就き十日會寧より雄基に至る沿岸の守備狀態視察の途に就く筈である

出張命令（二十八日附）

京城高等工業學校教授 市村定

支那へ出張を命ず

人事消息

▲齋藤治郎氏（商工課事務官） 支那視察の爲二十九日朝出發

▲長野虎太郎氏（光州日報社長） 二十八日朝入城山本旅館へ投宿

▲石原磯治郎氏（京畿道道評議員） 二十九日朝內地より歸城の筈

▲石田千太郎氏（平北道理事官） 廿八日朝入城不知火へ

▲藤井寬太郎氏（旅順中學校長） 廿七日夕入城同上

茶話

▲總選擧はいよいよ五月十日と云ふので今や京城はいづこも同じ選擧騷ぎに沒頭してゐる▲政友本黨が第一黨となるか憲政派が勝を制するか、豫も一日一日とぼかぼかして選擧に持つて來いと云ふシーズン▲こんどの選擧に一抹の生氣――かどうかは知らんが官人の新人の出馬の多いのは注目に値する▲朝鮮からどんな顏觸れが征途をあげるかと思つてゐたら今のところ前代議士大浦多進一君を筆頭に松山、牧山、坂上の前代議士しかマダ無い▲何だかこれでは寂寞だ、サアうんと出馬した、そして朝鮮開發と國是の擴充に向つて突進した▲總督府の新人から出馬するものはないか、いつも選擧ごとに郷黨から勸誘を受けてゐた大塚內務局長はこんどは何とも言つて來ぬさうだ▲ところで氣の早い連中は守屋祕書課長が東北の郷里に出馬の紹介みだなどとアレは實は出馬の噂があるよ、しかし、そんなことは噓だと、尤も守屋祕書官が際それは郷黨から頻りに勸誘攻めにあつたのは事實であると▲然るに同君が郷里からいよいよ立つとすれば中島鐵藏六內ケ崎作三郎の兩氏と爭闘戰を行らねばならぬし、勞々以て不出馬に決定したと▲話は前後するが次の次の總選擧にはきつと打つて出ると大塚內務局長は宣言してゐるげな。

氣象日報（廿八日）

二十八日朝高氣壓は支那北部及朝鮮に擴張し本邦方面に氣壓低し南部は曇天其他は晴天にして氣溫は昨朝より五度內外低く北風流行せり、二十九日京城は天氣良好なるべし

天氣豫報（廿九日）

晴 一時曇

廿八日正午 攝氏 零下二度七 華氏 二七度一

廿七日最低 攝氏 零下五度五 華氏 二二度一

法人及商號 登記公告

合資會社京城日報社。大正拾貳年拾貳月拾日本店ヲ京城府太平通壹丁目拾參番地ニ移轉シタリ [illegible]

[illegible]

京城地方法院

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

開城支廳

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

開城支廳

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

平壤地方法院

[illegible]

立木入札拂下

黃海道長淵郡海安面長山串國有林地上立木 アカマツ其ノ他合計九千九十八尺縮 此ノ見込本數百四十四萬四千二百九十本 他ニ根株 五百五十萬八百九十 右入札拂下ニ付シ入札拂下ク詳細ハ二月二十日以後ノ官報ヲ見ヨ

支拂廣告

利子倍 本社々債利子第四回支拂の儀左記の通り取扱可致候間利札引替に御受取被下度候

大田電氣株式會社

期間 大正十三年三月一日より

取扱場所 [illegible]

右取扱期間經過後は大田電氣株式會社本店にて支拂可申候也

御報告の御儀終り
東宮同妃兩殿下御歸還
舊都の風物に御名殘を惜しませつゝ
萬歳の聲に微笑ませ給ふ

御滯りなく神宮山陵御參拜御報告の御儀を終らせられ京都大宮御所に御三泊相成つた東宮並びに同妃殿下には二十八日愈々東京に還啓遊ばさるゝ事となつた 四日間掲げ通した京都市内各方の國旗、提灯はさながら御名殘りを惜み奉る如く朝風に靜かに靡き御所の松の緑を始め堺町御門と京都驛前にしつらへた奉迎門にも何處となく御名殘の氣分が漂つてゐる、沿道には御入洛の時と同樣市民が堵列して御見送り申上る 兩殿下には午前六時過ぎ御目覺めになり御揃ひで御朝餐の膳に向はせられ京都府廳上の特産品等を御覽ぜられた上兩殿下共通常御禮裝に召されて御機嫌麗はしく過ごされた 午前七時三十分御出門自動車にて御所御苑内を緩々と徐行され京都の風物に御名殘りを惜まれた斯くて自動車六臺の略式鹵簿は市民奉迎裡に烏丸通りを南に進み七時五十分京都驛につく 殿下には御車寄せより貴賓室に成らせられ此處迄見送り遊ばされた久邇宮多嘉王邦子女王の御二方に御挨拶れの御言葉ありそれより石田驛長の御先導にて有資格者の奉送に親しく御答禮遊ばされつゝお召列車に近づかせ給ひ中川鐵道大臣に御會釋遊ばされて殿下には車上の人とならせられた、午前八時驛長の合圖と共にお召列車は徐々に進行を始める、今宮京都府の注意によつて驛前の萬歳の歡呼を差控へてゐた學生團體其他の市民は驛前廣場より線路に沿ふてこゝに始めて一齊に萬歳を連呼し其聲は全市を掩がすばかり殿下には車内に於かせられて殊の外御機嫌麗しく微笑ませ給ふたと漏れ承はる（京都電報）

今宵は沼津御泊

東宮同妃兩殿下には御參拜も滯りなく濟まさせられたので二十八日午前八時三十分京都大宮御所御出門午後四時十五分沼津御用邸西附屬邸に御一泊明二十九日午後三時東京御帰還相成る由（東京電報）

世界一周機
日本の歡迎準備
大きな羅馬字で『東京』の文字を描く

英米佛三國の飛行隊が打揃ふて世界一週の途上日本に着陸する爲め陸軍航空部及び航空局では其施設について國際航空契約に依り當然の物を造らねばならぬ必要に迫られ陸軍の航空局では今其設計中であるが大體する所に依れば場所を定め上空から俯瞰し易い樣に羅馬字に依つて東京の文字を描く事になつてゐるが其一文字は長さ十八尺幅十六尺で之を作瓦で現すと云ふのである尚三國の飛行隊を我國に迎へる時期は的確ではないが四月末から五月中旬迄であらうと（東京電報）

「レーニン追悼會」

レーニン氏の追悼會は來る四月六日擧行の筈で目下準備中であるが尚同氏の記念碑も建設すべく計畫してゐる（北京廿七日發電）

三木武吉氏へ
三千圓贈る

牛込區民は一戸五厘宛を寄附して三千圓を集め選擧費として三木武吉君に贈呈すると云ふ（東京電報）

音樂研究會
童謠批判會

既に發會した大邱京城第一、内田第二、金剛各女學校音樂教師等に全鮮の音樂關係教師を以て組織された朝鮮音樂研究會では二十八日午後四時から南大門小學校で童謠のレコードコンサートを開き之に關する研究批判會を開いた

危篤の
松方老公
幼名は助左衛門
貧乏家の三男
利通公に引立られて
財界に功多く
有名な子福者

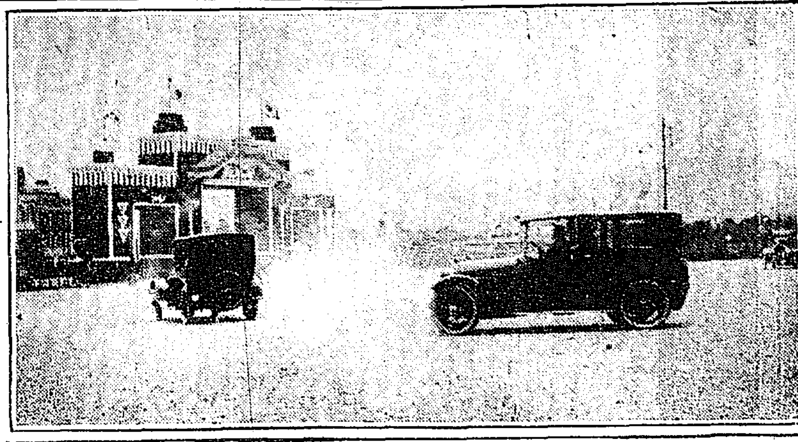
歴代内閣の眼上婆さんとして政界に隱然たる勢力をもつて居た松方老公も寄る年波と病氣には勝てず此の二兩日來愈々危篤に陷つた公は幼名を助左衛門と呼び天保六年鹿兒島城下の小士の家に生れたが元來貧乏なところへ三男坊であつたから最も簡明に世路の辛酸をなめ弱冠の頃から藩の[illegible]家として漸く藩侯の手許に[illegible]島津三郎の從士となつた、當時藩士の御側役に大久保一藏（後の利通）と云ふ人があつたが公の前半生は其の援助誘導に俟つところが多い、即ち利通公は松方公の頭腦な性格に深みを感じ文久二年久光公上洛の際公を伴ふて維新の風雲に參ぜしめた、是が機となつて公は鹿兒島と京都の間を往來し彼の蛤御門の戰ひには長槍を揮ふて敵軍に突入大いに勇躍隼人の膽を寒せしめたものである、維新後公は政令に從ぜられ明治七年地租[illegible]命の改正と同時に顧問となるや獨特の財政的手腕を揮ひ爾後數十年間我國財政のオーソリチーとなつた、公の功績中最も顯著なものは明治初年の財政を整理したこと殊に明治十四年から五ヶ年を費して紙幣の整理を成し遂げたことである、更に十五年には日本銀行を創立し三十年には金本位を採用した點も大きな功績と云つてよい、公が元老であることは世間周知の事實、曾て先帝陛下の御下問に接して憲法には容喙するを得なかつたとの逸話もある、嗣子巖氏二男の幸次郎氏は神戸川崎造船の社長として實業界に雄飛して居る

正隆銀行員
大金拐帶
内地へ逃走か

滿洲四平街の正隆銀行員[illegible]（三）は數日前自己の保管する行金數千圓を横領して豫て馴染を重ねた[illegible]屋のカフエー[illegible]を落籍して鮮内に逃走した形跡がありとて府内各署へ捜索方を依頼して來た

爲替券變造
釣錢を詐欺

二十七日午後三時半頃府内黄金町二の二二番地野口助男方へ鮮人二十四歳位の鮮人が來りビジョン二箱價格五圓九十錢を買ひ二十八圓九十錢の[illegible]爲替券を出したので同家では所で現金と[illegible]へんとした爲替の額面は僅二十八錢の小爲替を變造したもので全く釣錢欲しさに[illegible]つたことが判り地[illegible]跡を追ひ本町署へ屆出でた



東宮同妃兩殿下（京都驛御著）

幼稚園兒の手
工品展覽會
八日から三越で開催

巖谷小波、高島平三郎兩氏を顧問とする京城三越内の兒童自由作品研究會では既に第一回の試みとして小學生の自由畫展覽會を開催して多大の効果を收めたが更に第二回の催しとして三月八日より十二日まで本町三越樓上に於て幼稚園兒の手工品展覽會を開催する事となつた、出品參加幼稚園は東京では子供の家、城西、東京、京城、大阪の各幼稚園より多數の參加で出品總數は各園五十點以上として合計二百數十點の外に東京、大阪の各幼稚園より多數の參考品を出品する筈になつて居るので豫想以上の盛況を呈すべく此種の企ては京城としては初めての試みなので一般市民の間に多大の期待を以て迎へられてゐる

病毒は全市に擴がつて
發疹チブス大流行の兆ある
警察は防疫に懸命の努力
府民の自衛を望む—周防衛生課長語る

京城府内に於ける發疹チブスは今や二十五名に達し毎日數名づゝ發見せられてゐるが病毒は全市に蔓延して正に大流行期に入らむとする狀況にあり此間に在りて警察當局は殆んど不眠不休の活動を續けてゐるが彼の患者の京内系統は一時相前後して發病したが未だ精確な端緒を得ぬ、最初は本町と鍾路署の管内であつたが其の後東大門、西大門、龍山と相次で發生して今では全市が侵されてゐる即ち府内全部が危險區域である 發疹チブスは蝨や南京蟲の媒介で傳染するのであるが此病の蔓延の[illegible]を見るに僅に[illegible]患者も續出するので[illegible]防疫方法では安心が出來ぬ[illegible]は勿論患者の出入した先は全部[illegible]其衣類の果まで大消毒を行つて病毒の撲滅に努めてゐるが[illegible]の防疫は患者の[illegible]に傳播せしめないにある、府内五百餘名の各家庭を訪問して蝨の有無を調査してゐる本府は一定の期間を以て[illegible]するから患家や[illegible]ある家に[illegible]は七日間の外部交通を絶つことを命令してゐるが此中には[illegible]の者が外出するのを發見するが[illegible]中には公徳に缺けた[illegible]で此上ない危險の[illegible]に處分する、今日まで發生せる患者は二十五名の内二名死亡したのみであるが凡て傳染病は流行の當初が輕微で[illegible]を進むに連れて重くなつて來るから之からの患者は凡て重症で府内全般は既に病毒に侵されてゐる

機關車を脱線させて
直ぐ復舊して見せる
龍山保線區岩本由彌氏が發明した
車輛復線機の實驗

鐵道局龍山保線區岩本由彌氏の發明にかゝる[illegible]世界的發明である[illegible]レット式機關車[illegible]現在[illegible]より[illegible]脱線の際直に復舊する裝置即ち車輛復線機を考案して愈々三月一日午後一時から實際試驗を行ふ事となつた此[illegible]は大型機關車（ミシャイッチ型）を龍山構内のポイントの個所で脱線せしめて其復舊工事をするので岩本氏自ら行ふ[illegible]に於付けられるものは[illegible]は何時の[illegible]一日の實際試驗に於て[illegible]放置して市民の便利を圖る[illegible]なつて居ると云ふ[illegible]して取付けを了したら市民の便利は非常に良いだらうと（安東縣）

午砲の代りに
電氣音響機
安東消防隊で据付る

安東消防隊では[illegible]に移管する[illegible]幼稚園の[illegible]機から午砲を廢止したのであるが[illegible]時間が[illegible]と不統一となり之に依つて不便不利が少くなかつたので之に[illegible]電氣音響機を据付ける事になり[illegible]近く[illegible]に[illegible]が愈々四月頃で[illegible]から据付けるのは五月以後になる[illegible]ある。[illegible]一と消防隊の二ヶ所が有力であるが、[illegible]の方は[illegible]

全鮮の局長連
表彰大會開催

全鮮郵便局長會議に出席した各地の局長連中には資金[illegible]人の[illegible]する仁川の[illegible]、[illegible]州の吉村[illegible]局長[illegible]か錚々たる大家が多いので會議終了後逓信部内に於ける[illegible]表彰大會を二十七日午後六時よりした

朝鮮學生の爲に
田中玄黃さんが
柔かく愛情の友として
家族と共に獻身的努力

鍾路中央基督教[illegible]部にて[illegible]は[illegible]後の片付け及[illegible]バラック等[illegible]現在[illegible]して居る學生は醫科二名[illegible]一名[illegible]十名其他各[illegible]田中玄[illegible]氏は語る『朝鮮から來る二十歳四十七名である[illegible]學生は何れも純眞であり非常に[illegible]であつて非常によろしいが良く東京に居る學生は多く[illegible]みがあつて居た面白からぬ傾向を帶びて居る、朝鮮學生の保護指導は非常に[illegible]困難であるが其[illegible]に手段へが無くて[illegible]か捨てゝ置くことは出來ぬ私は一人の仕事でなく家族全部と私共の[illegible]と共に[illegible]旅行に彼等の荒んだ淋しい生活に溫情を吹き込むことに努力して居る私は東京に居た頃は大いに[illegible]

十八娘の轢死

二十七日午後九時京城府黄金町[illegible]小路を[illegible]十八歳位の女が線路に飛び込み内地人から京城[illegible]にかけて右足を轢斷され間もなく死亡した

列車内で往生
三等車の支那人

全山驛發大[illegible]行き二[illegible]列車が二十六日午後三時[illegible]十五分[illegible]三等車の中[illegible]支那人が[illegible]つたので[illegible]驛より[illegible]の手[illegible]を[illegible]持して居たが[illegible]死亡[illegible]らしい（安東縣）

女生徒が主人役で
男生徒を招待する
三月三日のお節句に
南大門小學校の催し

來る三月三日はお節句で女の子の嬉しい日なので府内小學校、女學校などでは思ひ〳〵お雛祭りをする筈の處南大門小學校で面白い催しをすることになつた、それは女生徒の[illegible]が[illegible]の時間を割いて[illegible]の會を設けて學生の各[illegible]で[illegible]の會を開催し[illegible]ですが[illegible]のお雛祭りにも同校の女生徒は一つ棟の下に[illegible]で[illegible]お雛祭りを催してゐる[illegible]男生徒を招待することになつた[illegible]笑しなものではないかと言ふ學校では生徒から『それでは私共から御招待申しませう』と言ふことになり、當日は女生徒の手に依つて各學級毎に[illegible]から[illegible]を設け校長から[illegible]の[illegible]が濟んでから[illegible]生徒の[illegible]から四年以上の生徒は女生徒が主人役で男生徒がお客さんでお饗應することになつた

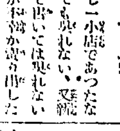
義烈團事件判決
首魁は懲役四年
裴致文は免刑

義烈團事件で[illegible]二十八日[illegible]判決があつた

具汝淳	懲役四年
吳世悳	同一年
文致煥	同二年
黃弘烈	同二年
金禎顯	同八箇月
裴致文	免刑

黃金町小火

府内黄金町五の一五七番地[illegible]方より二十七日午後十一時半頃失火したが即時鎭火した原因は過失の[illegible]より附近に堆積した[illegible]に燃え移つたものと判つた



京城名物
文化まんぢう
京城本町二丁目 パイン商行

嫁と別れるを悲しみ
若者の毒藥自殺
父に生木を割かれて

府内[illegible]町一五〇番地[illegible]永[illegible]は一昨年十月頃[illegible]の新羅病院の小使に住み込み勤務して居たが昨年十二月頃から[illegible]する内鮮人の[illegible]が生活の[illegible]して居る内文某が[illegible]に[illegible]を[illegible]せんとしたのを[illegible]して[illegible]七日午後六時頃[illegible]に[illegible]したが[illegible]は[illegible]して[illegible]生[illegible]二十八日午前七時頃[illegible]に自殺を遂げたと

二人組の泥棒
二ケ所へ忍ぶ

二十八日午前三時過ぎ府内[illegible]町一の一二番地佐藤[illegible]方へ二人組の賊が侵入し[illegible]を[illegible]して居るのを家人が目を醒めて誰何したので二人組は[illegible]へ逃走したが同時刻頃同町一三番地の[illegible]方へ忍び入つた形跡があり同一犯人の所爲らしく所轄本町署では[illegible]捜査して居る

『面白い懸賞』
第二回募集

二十二日朝刊紙上に『面白い懸賞』を發表しました處讀者各位より多大の歡迎を受け應募は連日机上に山を築くと云ふ盛況を呈し尚各方面から是非第二回を募集するやうにとの希望がありますので

廿九日朝刊紙上
に第二回懸賞募集を發
表します

第二回『面白い懸賞』は本二十九日發行朝刊紙上にあるものです

京城日報社

大邱の猩紅熱

大邱の三笠町七ノ二官吏[illegible]長男太田[illegible]夫（一二）は豫て猩紅熱の疑ひにて加療中の處二月十八日猩紅熱と決定大邱道慈惠醫院に入院せり（大邱）

奇特な巡査
老人を救助す

大邱警察署[illegible]町派出所勤務の巡査[illegible]氏が去る廿日[illegible]へ巡回して居ると七十餘歳の老人が[illegible]

人參湯

▲山縣系の大佐が倅で七十人の娼妓について調べたところによると娼妓一人の前借金は平均三百三十圓、稼業年期は二年八ケ月になる▲此の中多少でも前借金を返したものはホンの數へるほどしかない一人の平均返濟高を二年八ケ月で働いて見ると一ケ月に五十七錢しか返濟して居らぬ事になる夫を更に日割にすると僅く勿れ一日にタツタ四厘九毛：▲此の割合で三百三十圓の前借金を皆濟しやうとするとザッと百八十年かゝる、人生五十をもう十年延ばして六十年として丁度三代繼續せねば皆濟にならぬ勘だと▲娼妓の股をゴム鞠と云ふ北國は『尻で濟す』と云ふのだが是ぢやどんな大きな尻を持つて行つても追つ付かぬ

二千餘圓拐帶

[illegible]

家庭不用品交換會

[illegible]三月[illegible]日[illegible]で[illegible]

二十五日名古屋[illegible]の[illegible]

普成專門學校

全國六百の[illegible]所を利用して大宣傳に入らんとする[illegible]

問題となつた
寫眞と藥
有田ドラッグ商會主　有田音松

世に[illegible]を流すものは、何時までも[illegible]せねばならぬそれと反對に國家を[illegible]するものは、これが助長せしめねばならぬ然るに社會には[illegible]の爲には國家の利害を顧みず殊に[illegible]を[illegible]つて他を傷けて利を得んとする[illegible]がある、[illegible]の間を[illegible]したので予は[illegible]に[illegible]する爲に左に掲載す

問　[illegible]

一[illegible]に就て、色々な風評があり、又新聞も[illegible]と[illegible]いてゐるが一[illegible]それに[illegible]する[illegible]が無いから、[illegible]などに[illegible]されてゐる有田氏にして、[illegible]ではいうてゐる[illegible]な[illegible]だと、世間では[illegible]ひ[illegible]なくば[illegible]をお[illegible]ひたい

答　高木鳳に[illegible]まる

で、[illegible]が[illegible]し一小店であつたなれば問題にしても[illegible]ない、文[illegible]も[illegible]としては[illegible]いではないだらうが、[illegible]か[illegible]商[illegible]が非常に[illegible]なのだからつまらぬ[illegible]の問題となり、イヤ[illegible]の、ペテン師だの色々な[illegible]をするものが[illegible]ても、予は[illegible]の心に[illegible]らないこ[illegible]がなく、[illegible]は[illegible]である

獨逸のカーレー會社

の特[illegible]であつたのが殆ど、戰爭後、獨占的に市場から[illegible]ひ占め一時は市場にこの藥の影だに見ることが出來ない有樣であつたかゝる狀態にあつたので、海外では、日本から[illegible]の[illegible]文があるので、遂には

瑞西シーグリード會社

が我商會の爲に特に製造して呉れるやうな狀態となり遂に藥界の問題ともなつた始末である我商會では、この[illegible]以外に最も高價で有効な藥十四種を選[illegible]してゐるのである、なほそ

大阪府衛生課

の公認する所であつて、[illegible]なる有効藥が[illegible]されてゐるといふ事に就て、疾くに公認されてゐる、[illegible]ふ人は[illegible]して後に正當な批判を加へて貰ひたいものである、[illegible]な[illegible]は三文の價値もない、[illegible]して後の批判こそ、予の[illegible]

内務省衞生局

の[illegible]してゐる「國民と[illegible]」といふ[illegible]に[illegible]する心得[illegible]を[illegible]してそれを一冊[illegible]者に無償[illegible]してゐるのである。[illegible]以上の見地からすると、[illegible]良であり、日[illegible]上内務省の[illegible]る[illegible]を[illegible]すれば

必ず全快するのが當然であつて
全快しないのが却つて不思議である

そして我商會に全快者の[illegible]が集まつて來るのも當然の歸結であつて何等怪しむに足りない
予は斯くて[illegible]な[illegible]に[illegible]して[illegible]者の[illegible]に[illegible]しつゝある[illegible]を救ふべく不斷の努力を[illegible]うてある のであるから、全國及び海外に散在する我[illegible]が、[illegible]く予の[illegible]のある所を[illegible]して[illegible]れゝば[illegible]これに過ぎぬのである、[illegible]し[illegible]に[illegible]を[illegible]觀とし、[illegible]

[illegible]は十[illegible]、[illegible]は六年間を再燃の危險區域だと醫界においても認めてゐるから、この期間を無事に[illegible]が出來たなれば、[illegible]の健[illegible]となるのである。予の[illegible]する藥が、既に[illegible]に有効なりとすれば、どれだけ病者に[illegible]を與へるであらうか、從つて國家に貢獻する處も甚大であるそれと反對に若し予の製藥が無効なものとすれば、非常な罪惡を社會に流すのである。就いては或る人々のいふが如き目的な批判は予に取つて三文の價値もない、[illegible]分析の上、その効力の有無を科學的に認め、而して後に正々堂々と非難の矢を放つのが[illegible]るの途ではないか、理路を失つた盲目的非難には予は斷じて耳を傾けず[illegible]の必要を認めないのである

論より證據　全快者も出來れば藥も賣れ、從つて昨十二年度に於ては日本一の製劑額を東京税務署に屆出づるに到れり、これ即ち予の製劑の効力卓越せることを雄辯に證明するものである

全快祝として

予が時計と金庫とを[illegible]する意味は、日々この時計を眺めて、規則正しく活動し、[illegible]、誠の美德を學び、そして得たる金をこの金庫に收める事を日常の[illegible]とすれば、決して病氣の[illegible]するやうな不幸もなく、自然抵抗力も強くなり、[illegible]などに罹はれる事もないと信じての老婆心である。

時計一個と手提金庫一個とを小包で贈呈し、全快の喜びを頒つ事にする事にした、そして[illegible]全快[illegible]に對しては

[illegible]せず、[illegible]の[illegible]を[illegible]へ、[illegible]に[illegible]して來る[illegible]や[illegible]を直ちに[illegible]する事をしないで、一々實否を[illegible]して來る[illegible]か、予は[illegible]、[illegible]から[illegible]ける始末となつたのではあるまいか多少の誤解なり、批判なりを受けず、殊に[illegible]して[illegible]な者が無きにしもあらず

そして我商會は病患者に幸福を與へ國家に貢獻しつゝある事を茲に斷言す

有田音松さん　新聞を發行

思想問題[illegible]

る有田音松氏は[illegible]には『國士の[illegible]』と云ふ大新聞を全國の市町村[illegible]して[illegible]も有田氏は六十の齢に[illegible]らせ[illegible]に依り都合六千[illegible]の[illegible]があるが故に例の有田式に[illegible]

「國士を持込むな」と題せる說明[illegible]

京城物價

京城組合に於る一月中の京城物價指數を見るに前月に比し騰貴せるもの生産品に於て牛皮の一種、輸入品に於て石油、和金巾の二種を數ふるのみで爾餘は悉く低落を示し前月を百として一月の總平均指數は一〇三、三〇に上つた今品別指數を示せば次の通りである

品別	單位	價格（圓）	本月指數
生産品			
玄米	一石	[illegible]	[illegible]
精米	同	[illegible]	[illegible]
大麥	同	[illegible]	[illegible]
小麥	同	[illegible]	[illegible]
大豆	同	[illegible]	[illegible]
小豆	同	[illegible]	[illegible]
明太魚	二千尾	[illegible]	[illegible]
鹽	百斤叺	[illegible]	[illegible]
木綿	一疋	[illegible]	[illegible]
紬	一疋	[illegible]	[illegible]
松板材	一才	[illegible]	[illegible]
松斷	十貫	[illegible]	[illegible]
木炭	同	[illegible]	[illegible]
朝鮮紙	二千枚	[illegible]	[illegible]
牛塊	一塊	[illegible]	[illegible]
牛皮	百斤	[illegible]	[illegible]
平均	同	[illegible]	[illegible]
輸移入品			
麥粉	一袋	[illegible]	[illegible]
白砂糖	百斤	[illegible]	[illegible]
醬油	小樽	[illegible]	[illegible]
清酒	大樽	[illegible]	[illegible]
麥酒	一函	[illegible]	[illegible]
綿糸	二十玉入一梱	[illegible]	[illegible]
和金巾	二十反入一梱	[illegible]	[illegible]
打綿	一貫	[illegible]	[illegible]
石油	一函	[illegible]	[illegible]
石炭	一噸	[illegible]	[illegible]
燐寸	二百打入一函	[illegible]	[illegible]
木材	一才	[illegible]	[illegible]
平鐵	十貫	[illegible]	[illegible]
洋紙	一連	[illegible]	[illegible]
平均		[illegible]	[illegible]
總平均		[illegible]	[illegible]

懇談された 抱株問題

意見の一致を見ず 廿九日更に會見

既報鮮米取引所の釘本社長は二十七日午後一時から京取市場に於て本社長を始め中津取引所の上側の抱株の處分問題に付き約二時間半に亘り意見を重ね相互に意見を披瀝して其一致點を發見せんとしたが遂に意見の一致を見出すこと能はずして更に二十九日會見懇談することになつた而して右會見の大要は一從來の聯絡たる抱株處分問題は市場關係者に於て金融社を設立し市場の取引業者と株主の間に於て入株の利益を考へ是れに對する意見を抱くものが多く而も市場は連日不振を續けつゝある極めて心細い狀態であるかくの如きは市場の爲めに極めて不利であつて此際此の沈滯せる空氣を一掃することは極めて緊急の問題であるそれには例の抱株を株主本意に處分して其懸念を一掃することが最も有効であるから此點に鑑みて一應大株主會の意見を聞き其處分方を諮るべき事を主張し考慮を求めたのであるが釘本社長は『抱株の處分に付いては前總會に於て社長及重役に一任されて居り自分は責任を以て其方策を講じつゝあるのであるが財界の大勢金融の梗塞せる現狀から今直に處分すべき時期では無い』と云ふのである。

土木事業界

上半期も閑散裡に推移せん

朝鮮の土木事業界は從來不況に加へて關東震災の打撃を蒙り一頓挫を來した土木事業界は更に昨年末來の政府の緊縮方針を受けて新規事業は勿論繼續事業までも中止の已むなきに立ち至り僅に成繼續の一部と水利事業が少しある位のもので全く萎微不振の狀態にあり例年なれば少くとも一千萬圓位の繼越はあるのだが本年は漸く四百萬圓そこ〳〵に過ぎないし尤も時節議會の結果を見れば斯界の景氣は判然しないが昨今の狀勢より推察する時は本年上半期の事業界は依然不振の域を脱せざるべく多くを期待する譯に行かぬであらうと

鮮米協會益發展

東京鮮米協會は一月末迄に我とし一萬石の石拔玄米を積送し賣先は互に好評を博して居る目下は一時的不引合の狀態なるも將來大に發展すべきものと目されて居る東京深川の新築事務所は去る二十四日移轉を了し今般府縣當局の諒解を得て協會に入り業務の發展を圖ることになつた而して運賃についての朝鮮總督府は五分引を以て之に應じ目下鮮鐵と交渉中である之れが實現せば極めて利便なる事であり方運賃低率なれば多くを期待し得ず目下右交渉は依然繼續して居ると

有意義なる 鮮阪穀商協議會

五月中旬大阪に開催

大阪と朝鮮の穀物業の聯取引協議會は去る大正六年大阪に開催して極めて有意義のものであつたが今般大阪堂島米穀問屋同盟會の主催で五月中旬大阪に於て第二回協議會開催の申込があつた目下双方協議中であるが多分五月三四兩日の第七回穀物大會に引續き開催され有賀會長、天日鮮事長等も出席する筈である右は最大の鮮米輸出地たる大阪と取引業者の解決及び研究の好機會として當業者間に至大の注目を以て迎へられて居る

綿絲布商狀

漸く活氣づく

目先堅調の手當買出動と鮮米漸く復舊の氣構へとで新綿界も漸く多からんとした綿布界も昨今既に相場の綾落を入れた爲め一時買氣沮喪して賣買皆無の姿であつたが久しく閑却された三品の本日の取引高に反映の底入模樣を入れて前日来の商況一變し現物界も亦小締りを示し一方三月渡に於ける見込買と相俟つて手合せ漸く多きを加へんとする商狀を示して來た、成り行き相場は左の通りである

A 二八七　金巾山 二五七

東拓株主總會

補缺理事の選任

東拓臨時株主總會は既報の如く理事一名の選任を行ふことに決定二十八日々三月十一日東京麹町區永樂町本社協會に於て開催し補缺理事二名の人選ずみがあつたが候補者の顏ぶれは既々傳へられた通り（鈴木、羽田の呼聲高く結局兩氏の入社を見るであらうと

金カナ 二四三 國面163 三二〇
支女 二九〇

海外經濟電報【二十八日】

英米爲替 四弗二十九仙八分の五（八分の一安）
スチール 一〇一弗八分の三（一弗四分の三安）
アナコンダ 三十三弗二分の一（四分の一安）
倫敦銀塊 三十三片八分の三
米綿 一圓四十錢高

日銀帳尻（二十六日）
發行高 一、二七二、一九三
正貨準備 一、〇五八、四四九
限外發行 九三、七四四

鮮銀帳尻（二十七日）
發行高 九一、六九七、四九六
正貨準備 三五、一六一、六七七、七八
限外發行 六、五三六、八一八、二二

内地金利（二十七日）
	東京	大阪
無條件	…	二一〇
翌日物	…	二四〇
月越物	…	二三〇
六十日物	…	二五〇
普通割引步合	…	…

商品市況

大豆粕（押す）例年二月頃より取引期節となるのであるが本年は思惑の買付盛んにて既に相當高騰を呈して居る相場は京城著二圓三十錢處を唱え一時に比して五錢から十錢安値にある、これは最近の米價軟調に因するものであるが大豆不作にて産地原料高に手堅ければ、それ程低落しない、今年の滿洲大豆は六七分作と云はるゝ上に水豆多く例年含水量は十一パーセント程度を普通とするもの多くありて變質と共に腐敗を懸念せられて居る滿洲の混合保管も十一パーセント以下とされて居るが今年は手心を加へ十三パーセント程度までは預りつゝありと尚ほ大豆粕は思惑筋では更に米價の奔騰に因り一段高を氣構へられて居るが果して短期に實現するや否や

硫安（買氣未し）目下は潮南京全羅方面の南から一部の要作に用ひられつゝあるのみなるも漸く買付手配されんとして居る目下の唱値仁川沖渡七圓五十錢處硫安は農家に顧かれたと云はれながら相當數行あり昨年の消費量約五千屯今年は六七千屯にも上るべきかと

綿絲布（閑散）米棉一圓三十錢續落銀塊十六分五高にて三品崩落の軟調にて大阪現物もヂリヂリ安の模樣問屋側連氣付き稍壹急ぎの姿あり茲許依然三品安に恐怖し補充買とても買控への有樣相場頭打の荷動き僅少市況至極閑散なり

粗布三Ｅ一二八九圓九龍一八九圓　大Ｅ一二八五圓金剛山二五八圓金剛二四三圓標管二四二圓白頭山一九八圓君寶二五七圓　細布飛犬（十三手）一四、三〇錢　世樂島一三、一五錢　晒金巾進軍一四、六五錢金鼎一三、八五錢　綿絲扇面（十六手）三〇八圓双女二九〇圓　晒木綿竹一、二三錢梅一、八二錢

鮮魚（商含み）商行餘り捗々しからざれ共昨今鰤の爲め入荷少く品海の結果相場は自然上向き加減である仕出地は釜山鎮海統營等南鮮方面に多く元山方面に際立つた入荷も見ない

〇〇もえび一八〇圓〇〇まぐろ七五、〇〇ひらす六五、〇〇さば二三、〇〇さわら八七、〇〇はら四三、〇〇あなご四〇、〇〇ひらめ七〇、〇〇たこ三〇、〇〇いか五〇、〇〇あわび二五、〇〇赤貝一五、〇〇ちぬ七〇、〇〇

株式（二十八日）

商情依然冴へず

前場手堅し 後場大閑散

昨後場は大引後大阪大新の止め八十七圓三十錢の品勝を入れ多少人氣を刺戟せる振合なりしも今朝は八十七圓下々の仲惱みを入れて買氣亦停頓模樣となり賣買共見送りて至極不氣乘の場面を呈し結局短期の大新は八十六圓三十錢と八十錢高に始めしも夕も押し待ちの賣り物に嬰せられて六圓ドゞより五圓九十錢と下押したが大引吉見筋の買進みに六圓五十錢と返して打止め結局一圓高京取は氣乘薄く賣物迎に三十二圓ドゞと返し三十錢高にて案外手堅く仁取安取は出來ず仁新は三十三圓二十錢の一本値期は勸信奉信に小口手合ありしのみ閑散裡に大引

▲後場は大阪市場休會の爲め長短共入氣なき爲め賣買共に澁み人氣氣なく場面大閑散を呈したが短期の大新は株式筋の受申告に依る逆日步の爲めに八十六圓九十錢と四十錢方引締り京取は大新の不氣乘と株式筋の見送りに全然手合行はれず大引十枚で三十二圓ドゞと保合を示した丈で其他は長短兩期共更に出來ず大閑散裡に大引した

京取無期待

京取株は赴派株式筋の手仕舞一巡と共に商狀相變らず寥々たるもので大新の小締り等も一向利目がなく今朝の如きも殆んど新手を見ずる不透明無活氣なる商狀を持續するのは要するに仕手の凋落に因るものではなくて只此の相場方の商内振りも亦全く一部林式筋の顏引賣買に小口の提灯が付くに過ぎないと云ふ程度に過ぎず殊に一般の注視となつて居る林式筋も此場値頃から買難いで商賣いて擱場の態度に出でず漸く其主力を大新に注がんとする振合の見へる等至つて妙味なき商狀であるから從つて當限共に活氣ある場面の展開は目先絕對に望み難いものと見られて居る併し林式筋の態度は不透明ではあるが依然賣氣を持しつゝあることは京取の手口に見て事實に近いらしく何等の新規材料を見ず抱株處分も共鎭默調く新仕手の出現も望み難い現狀としては矢張り林式筋の態度如何に依つて或程度迄は動かさるゝより仕方がないものと見られ同時に其値頃關係から小口の玉を以て漸次相場吊り上げの策に出づるのが得策として最も得策であるから目先其間徐々京取の引締めを行ひ居り大新に主力を注ぎつゝある同筋は待ちに賣浴せんとするものとの觀測から目先は不氣乘閑散の裡に手り高步調を續けるものと見られて居るが要するに昨今の如く仕手の

棉業界重視さる

大新株は昨大引後七圓三十錢の品勝を入れ今朝は七圓ドゞの仲惱みに買氣依然は頭に吉見筋の買進み以外には目立つた買物なく人氣は矢張り戻り賣傾向で六圓五十錢と大阪の下觸に打止め大新の人氣は依然警戒見送りの狀態であるが大阪市場の商況としては頭米棉の不勢と共に新綿株は一齊安を告ぐるに至つた斯る商狀は一般人氣の上に多大の悪影響を齎らすは勿論であるが綿絲界も提早北鳥綿落を告ぐるとするも際値逆みしき趨あるとは其一面之れが脅威を受け居れる紡績株も此邊の値頃には那々採算的の買物も現はるゝ傾向があるから無闇に今後を悲觀し難かるべしとの觀測が行はれて居り更に全體の人氣から見て漸く大保用期の解決を告ぐるに至りしに若干賣氣を煽揚せんかの銀行きを示し居れる傾きあるも依然警戒勝ちの人氣は此際飛入んで買入れ漸く新規に買はんとする勇者も現はれない形勢であるから此處とて相變らず小締りなき底値を繰返すの外はなからうかと觀察されて居る

抱株問題歸結

抱株問題に對する釘本京取社長平非勸信専務の懇談は別項の如く逐に意見の一致を見る能はずして物別れとなつたが本問題は何等私心の加つた感情問題ではなくお互に市場の振興を根本義とせる懇談であつて之れが爲めに市場對勸信の關係には何等の變調を生ずるないのは勿論で勸信專務としては右株主會又は臨時株主總會の開催を見るに至るかも知れないが同氏としては目下の如く鮮米界に出づる事は甚だ紛糾を來すの時なるに惡化せしむるの懸念から大株主會を全然偏りせず具體的の意見を有し居れる見積り大株主會等の開催は此際見合せて結局抱株問題は大株主會等の意向を尊重し結局平井氏がするこことなく市場に於ても其主代表者たる格を以てし平井氏の處分に委任することとなり之れが協議の結果一段落を告げることになるであらうと觀測されて居る

大新逆日步

大阪市場の休會と共に後場の大新商内は至極不氣乘であつたが前場に於て大新賣越の最近京取製の三十一圓と共に二百枚以上に天新逆日步八十錢連れと共に前場以後六十枚前後に下つた買方の受株を合して十八百六十枚の大篠手となり前日步八十錢を記録せる事になつたが京取市場としては一日に千五百枚の受株は市場開始以來のレコードであると

大株市場休會

大株市場は受渡しの爲め今二十八日長期は前後場共短期は後場休會

短期喰合殘玉

二十八日前場現在

▲京取短期二、九二〇代民八九〇賣り方吉見四四〇、金山三二〇、新田一一〇、田中一五〇、李寶一八、佳一〇、市川五〇外四店、買方四二五〇、新田六〇〇、定岡二七〇、白樂四〇、南三一〇、中村四四〇、井口一五〇外一店　▲大新短期四、一六〇不足一、八〇〇賣方有田三三〇、新田一四〇、定岡五七〇、中村三〇〇、外三店買方李往一三〇〇、金秀三〇〇、南一、二三〇、吉見一、一〇〇、非田中四八〇、趙五二〇外四店

算定 京取三十三圓、仁新三十三圓大新八十六圓

日步 京取十四錢、仁取四十錢、仁新十五錢、朝紡九錢、拓新逆十五錢、滿取逆十錢、安取十錢

出來高 長期百五十枚總計三萬八千二枚▲短期千百九十枚總計二十四萬六千二百四十枚

場前手振

▲京取新田、閔賣り、田中、白井買百枚▲仁新買川三百、中村井口、成清、大島、新田、吉見五百五十、閔、市川、南三百五十枚

後場手振

▲大新短期新田、閔、市川賣り、定岡、李寶吉見百七十枚

大阪短期取引

銘柄	〇二十八日 寄付	前場 大引	後場 寄付	後場 大引
大新	八七・〇〇	八七・〇〇		
鐘紡	二九八・九〇	二九八・九〇		

安中株式

〇二十七日後場寄付 大引
安取 先 … 一七・一〇
〇二十八日前場寄付 大引
安取 先 … …

鎮平銀

〇二十七日後場寄付 大引
當限 一・三二七 一・三二六
先限 一・三二〇 一・三二七
〇二十八日前場寄付 大引
當限 一・三二四 一・三二〇
先限 一・三二五 一・三二一

仁川期米（二十八日）

前場新甫待

前日阪地の奔騰を受けて三十一圓六十九錢と續返して打止めし昨夕引際各の夕場高に今朝は更に强硬を氣構へられしも大阪寄氣

現株中値出來値（二十八日）

銘柄		前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取	寄引	…	…	…	…
取新	寄引	…	…	…	…
仁取	寄引	一〇一・〇〇	…	…	…
仁新	寄引	…	…	…	…
商銀	寄引	…	…	…	…
新銀	寄引	…	…	…	…
殖銀	寄引	…	…	…	…
銀行	寄引	…	…	…	…
商新	寄引	…	…	…	…
實業	寄引	…	…	…	…
銀新	寄引	…	…	…	…
商工	寄引	…	…	…	…
新興	寄引	…	…	…	…
新銀	寄引	…	…	…	…
東電	寄引	…	…	…	…
新電	寄引	…	…	…	…
東拓	寄引	…	…	…	…

銘柄		前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
朝鮮	寄引	…	…	…	…
土地	寄引	…	…	…	…
朝紡	寄引	…	…	…	…
毛織	寄引	…	…	…	…
京電	寄引	…	…	…	…
瓦斯	寄引	…	…	…	…
西鮮	寄引	…	…	…	…
釜鐵	寄引	…	…	…	…
電興	寄引	…	…	…	…
京南	寄引	…	…	…	…
南鮮	寄引	…	…	…	…
金剛	寄引	…	…	…	…
新鐵	寄引	…	…	…	…
新倉	寄引	…	…	…	…
東京	寄引	…	…	…	…
新町	寄引	…	…	…	…
信託	寄引	…	…	…	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	寄値	安値
京取	前後	…	…	…	…
取新	前後	…	…	…	…
仁取	前後	…	…	…	…
仁新	前後	…	…	…	…
朝紡	前後	…	…	…	…
拓新	前後	…	…	…	…
滿取	前後	…	…	…	…
安取	前後	…	…	…	…
大新	前後	八六・…	八六・…	八六・…	八六・…

大正十三年度の神戸格附決定

神戸取引所に於ける大正十三年三月以降の格附拜廻し等は概ね但定中館中の處今回認可發表せられたが其の一部を摘記すれば左の通りである（大要の內國北四等は五月限及六月限三等以上五月限より七月限迄實施）▲朝鮮全羅忠淸京畿の各道產等は三月限より六月限迄二等以上は三月限より七月限迄

地名		特等	一等	二等	三等	四等
兵庫縣 播津米	大	…	…	…	同格	…
	小	…	…	…	…	…
播州	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
大阪府 播津米	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
備前米	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
慶尙南道	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
慶尙北道	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
全羅南道	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
全羅北道	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
忠淸道	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…
京畿道	大	…	…	…	…	…
	小	…	…	…	…	…

當限受渡し

今回前場寄會を告げた當限の受渡しは石數五千四百石値段は三十四圓七十錢にして其の内譯は左の通りである

ケの三十六圓四十錢と二十一安を入れて當限來ざりしも中三十圓七十錢先三十一圓七十錢と續落の防

▲第一節當限出來ず先三十一圓▲第二節當限は大阪二回五十錢の移りに六十八錢と跳返して五錢と引下寄せたり▲第三節當限出來ず中八十五錢先六十八錢より七十五錢と締りて引下寄▲第四節當中出來ずと前五十八錢と返して引け▲第五節當中出來ず先六十錢▲第六節當限出來ず先六十七錢と續けて大引

受渡手現る

正米は産地の何れもが割高で不引合の結果湖安の當限や定期の受渡米は既報の通りなかつたが今朝仁川筋の依頼に依る各筋の買付が見え受渡米の出來高は石數九千四百石値段は三十四圓七十錢當限受渡の値段は三十四圓二十錢見當であると

後場持合ひ

▲第一節當限納會中出來ず三十一圓五十九錢寄付▲第二節當限出來ず中三十圓八十錢より八十錢引公定八十四錢先一圓二十錢より八十錢と續けて引▲第三節中三十圓八十錢の寄止先一圓六十七錢より九錢と締り七十錢と引▲第四節中出引ず先五十五錢よりと返して引▲第五節中出來ず先五十五錢より七錢引▲第六節中出來ず先一圓五十六錢と持合に引

買方步ひけか

三十六圓の揃みに浮動しつゝあつた阪地が前日の當限落より急に歩調を一轉して波切り頭を續け出したが別段に强材料が出たのでなくは其當限の正米先筋がこれを歎念して入れて反動を誘致したりと云はれた過ぎる先の氣味が強かつたので人氣であつたが然し一時買方の骨拔きに及ばないだらうと云ふ目先は一寸退いても賣方の當限が結局に押してと見て矢張り四兩石近くの大受渡しが行はれて居ると之が迄は要するに正米より定期が硬貨に安いと云ふが現在の中先は其の値位がない儘に合力の見方で居た

米界餘聞

前場は平穩なる持合で後場になつたと來るのが此頃の場勝になつて居たが當限の買は案外に手強く此處丈は何等の要領を持つて居たが新値に反動は出たので賣方の決ぜしもので大新の底を打つて見やうとい株式筋の一の芝居を打つて見ようと云ふ茶目氣がたるもので底入強氣が是を覗ぎ云に及び是非とも一つ買付けて見ようと云ふ茶目氣が現れて居るらしいなど

大阪當限受渡

前日納會を告げた大阪當限の受渡石數は三萬八千六百石受渡値段は三十四圓七十錢なりと

〇 仁川府新町 桑野仲買店 電話三九番

各店の張合せ

中米四 … [illegible]

京城穀物

正米現物

方面共地は各地の受渡當限到着なれども荷主穀物の賣氣不充分にして賑製米は既に現物の受渡が漸く之に至る先物期待の强き爲め此の邊の處分すべきを有利として産地に相當賣買されたる模樣ありて正米の需要筋の手持筋の思惑益々濃厚の傾きありて地捌玄米の如き然も再び高値に

仁川正米

定期高を受けた地場正米は下地浮動米の堅調なき折柄にて前日より二十錢高の丸ヤ四等三十圓六十七十錢地掛玄米二十七圓八十錢穀上物九錢二厘より在來種八錢八厘見當を唱へ賣物薄の爲め閑散に推移して居る

釜山正米

現物穀良都三十一圓五十錢神力三十一圓十錢三月末限三十一圓四十錢四月中限三十一圓七十錢より入十錢出來高一萬石

群山正米

現物穀良都三十一圓七十錢神力三十一圓十錢三月中限三十一圓二十八錢より二十五錢三月末限三十一圓六十五錢より五十錢四月中限三十一圓四十八錢より七十八錢出來高二萬八千二百石

大邱正米

現物穀良都三十一圓二十錢神力三十一圓四十錢三月末限三十一圓二十五錢四月中限三十一圓四十五錢より五十七錢出來高二萬二千石

東京期米

	〇二十八日前場	二十八日後場
先 寄	三八・四一	三八・四一
二節	・四〇	・四九
三節	・四一	・五〇
四節	・四四	・五三
五節	・五三	・四四

大阪期米

	〇二十八日前場	二十八日後場
寄	三五・四九	納會 …
中 寄め	三五・六四	三五・九九
止め	三六・四〇	三五・五二
先 寄	…	三六・三三
二節	・四〇	・三六
三節	・四七	・三三
四節	・四八	・三四
五節	・〇〇	・三三
六節	・〇四	・三九
七節	・一四	…
八節	・四一	…
九節	・四三	…
十節	・四七	…

兵庫期米

	〇二十八日前場	二十八日後場
寄付	三五・七二	三五・六一
止め	三五・一〇	三五・六二

下關期米

	〇二十八日前場	二十八日後場
寄付	…	…
止め	…	…

桑名期米

	〇二十八日前場	二十八日後場
當限	…	…
中限	…	…
先限	三四・一〇 三四・三〇	三四・四〇

大阪三品

	〇二十八日前場寄付	前場大引
二月限	…	…
三月限	…	…
四月限	…	…
五月限	…	…
六月限	…	…
七月限	…	…
八月限	…	…

	〇二十八日後場寄付	後場大引
二月限	納會	…
三月限	…	…
四月限	…	…
五月限	…	…
六月限	…	…
七月限	…	…
八月限	…	…

仁川米豆取引所仲買人 ㊕ 仲買店 電話 六一五番 六三二番

通俗太閤記

三百九十三回

松林伯知講演　加藤由太郎速記

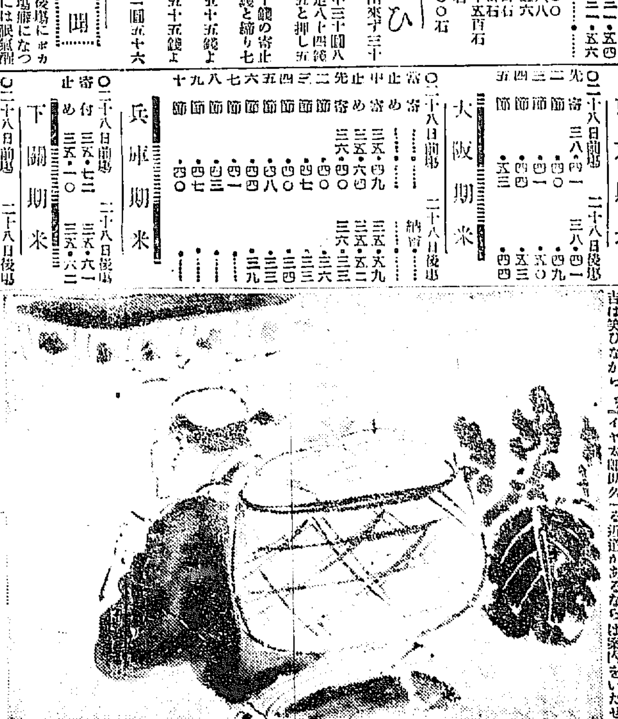
信長公が度々石山の本願寺を攻められた其時鈴木孫左衛門の護騰に因つて信長の同勢粉の如くに敗走したことがある、其砌秀吉御供をいたして居りましたが關戰の折に九人、高井田村の百姓太郎助の處に參り其危きを助かつたことがある、秀吉は能く其事を覺えて居ります、然る處へ此度明智征伐と云ふことを聞いて太郎助が瓜を持つて來たと云ふから、大層喜んで案內をいたせとの仰せに出つて來た

〇うぐひす餅
〇さくら餅
今は早や店頭に……
明治町 木村屋

兵衛が案內をして來た、重たさうに瓜を籠に入れて自分で背負つて本陣まで持つて來たので、膝は妙な奴が來たと見て居ります、秀吉は笑ひながら「イヤ太郎助久

與れたは昇ない、早く濟んで後にも其方に恩賞の沙汰に及ぶ、暫らくこれにあつて物語りをいたせ」と大層喜んだのは、聞けば今光秀を征討しやうと云ふ際に農の明地の瓜を皆んな切つて來たから退じて與れろと云ふ、何にも知らぬ百姓故有心故意ではなくして無心偶作でありますが最も緣起の好きこと、秀吉は是を喜んだ、戰などは矢張り緣起もので、緣起が縁伸を亡ぼすために二萬六千を以て五萬の大軍に當つた時に丁度山城國宇治の片瓏りに參りました、時に中山の里といふ處へ參りましたけれども是から宇治に行く近道を知らうと思ひましたが道が分らぬ、で土地の庄屋を呼寄めた處が九人の庄屋が參つた、是より宇治に參る近道があるならば案內をいたせ

して居る　「夫れより京都一の畠と申すの口明神の前の細道を參りますれば此處も近い、默目で徒步でなければ進まれません」恐れながら此處の御難ひは御勝利疑ひなく、カチでお進みにならんければなりませぬ」其時秀吉は笑つて「其方は何といふ」三司庄官三郎右衛門と申します　秀吉「勝ひ濟んだる曉には私く恩賞を取らせるであらう」と此人ばかりは首が助かつて後には重く用ひられたと云ふお話がございます、今秀吉が陣中に百姓太郎助が持つて參りました瓜も、丁度明け地になつた瓜を進じて與ろといふのが氣に入つて後は河內國茨木に於て一萬石を下し置かれ、勝島太郎右衛門といふ諸侯になりました然る處此者は關ヶ原の戰ひに石田三成に加擔して家を亡ぼしましたが是は後のお話でございます



或であつた、苦しくない苦しい九人に面目を見して、太閤有難い…いたしまして御座いませう、宜いやら此度は…御祈禱をとで總大將におなりなすつて…勝ちを致すといふことになり、信長様の戰…長様の戰討…をしなさるさうだが大にしたことで、私もこれを喜びながら聞いて歸つてやらうと思ひ、百姓のことで忘れとまふものもなく不圖思ひ付いて此瓜は我の畑地に出來たのだが、どうか光秀を滅す手始めに此の瓜を獻上をして意と思つて切つて來ました、秀「ウム、爾の畑地の出來瓜を切つて來たか、天然らで」ございます、畑地に出來た瓜を切つて參りました、秀「どうも太閤は好い物を持參して異れた、裏の畑地に出來た瓜を残らず斬取つて來たとは面白い、太「ハイ、どうせ大將方に召上られる物ではありませんが、滯民ございますから片つ端から退じて下さいまし」百姓ではあるが滅々瀟落たことを云ふ、秀『瓜絡れ歸る」は汝に譲しといふが光秀を此處へ此の瓜を持參して

と云ふと、九人の庄官が直に前を見合はせて居たが、九平と云ふもの が出まして、九『大將様に申し上げます是から宇治に出ますには中山の里を通つて稻荷といふ處へ出て伏見へ出でまして當國名代の首落し……』と云つた時に秀吉は顏色を變へて九平の首をスパッと斬つて落した『他の者は近道を存せぬか』一人斬られたから八人の庄官共はゾル〳〵と震へて居る、仕方がないから二番目に又兵衛と云ふ者が出て又『當所から宇治の平等院に出でまするは中山の里、稻荷の前を通り伏見の……』伏見の首落し……」と聲の切れぬ內にまた其者の首を落とした、義俄てく庄官などゝ云ふものは物の分らぬ奴等かな、今一人參つて申せ」と云つたが誰も近付く者がありませぬ、其內に三郎右衛門と云ふ者が出まして「三『大將がお尋ねでございますが、是から宇治の平等院に參りますには中山の里、稻荷を通つて當山の前から伏見……』首落しと云つたら斬りつけ……」てあらうと刀に反りを打たし

將棋新手合（四）

於釜山幸町釜山棋友俱樂部
平手 先 ▲三段 佐田 眞作（京城）
△三段 岡田 豐（釜山）
同は前號指了後の局面
△持駒 岡田氏ナシ

９	８	７	６	５	４	３	２	１	
香	桂	銀							[illegible]

▲八一馬▲五三飛△（チ）二七飛▲六四角△七七桂▲五四銀△六六桂▲五五銀△六五桂▲四三飛△四五步▲三三銀△五三步▲三一王△五四桂▲四一金△六三馬▲五七步（ナル）△同銀▲（リ）五一步へ以下次號
△（チ）二七飛上り以下の攻防方法大に面白し
▲（リ）五一步と詰けたるは此の場合致し方なし

お手輕な料理

◇大根の鹽づけ◇

これは漬けるまでにかなり日がかゝりますから、直聞に合せることは出來ませんが、ばりばりしたおいしい漬物です。大根の質のよいものを選び、生のまゝ丸ごと（形が小さければ、程の長さに切つてもよろしい）少し乾い位の鹽をばらばらとふつて漬しをしておくと、一月位します とばり〳〵して味よくつかります この鹽加減は一斗位の器物なら大根一並に、一握りの鹽をふりかけると丁度好いのです。

三月一日

（舊曆正月廿六日）
▲四線△暗劔展二△土府▲已卯▲友引▲除▲女宿

▼四綠 表面は良き相であるが大凶を避けて居れば吉 進むは、我意を通さうとせば凶。
▼五黃 我意を通さうとせば損す。
▼六白 ▲目上の氣を損はぬやうまめやかに働いて利益を見よ。
▼七赤 ▲外出すると不利なり相談には慨して有利東と西とが吉。
▼八白 ちよつと見戒の見込がある東と西が吉。
▼九紫 ▲住居の心配事も減ずる徴兆なり東と南が吉。
▼一白 ▲新に人を得ることあり吉。
▼二黑 ▲新規事業の好機到來。
▼三碧 ▲旅行は勝たせてやれ、守りて得ることあり。

早稲田大學が發行する最信用ある最確實な中學講義

中學校へ入學せずに完全に中學全科が卒業出來ます

四月上旬新學年開始 見本送ります

早稲田 中學講義

全國校外生大會 五月上旬に大阪に開催

政治經濟科・法律科・文學科 商業科・高等女學科 以上の五科も新學年開始見本進呈す

發行所 東京牛込 早稲田大學出版部 電話牛込三四五・三四六・三七四九

株式會社 山口銀六 京城支店

京城府黄金町二丁目 電話本局長八五五八六 資本金五千萬圓 本店大阪市

ズック製 粗布製 シート雨覆各種 特選防水布製

マント型 外套型 曲尺(自二尺二寸至三尺七寸) 六圓五十錢 六圓 四圓五十錢

小兒用(十二歳迄) 四圓五十錢より

同 (十歳以下) 三圓五十錢より 四圓迄

學生用 雨合羽 鮮紙製 壹圓五十錢以上 貳圓七十錢迄 (自二尺六寸至三尺六寸迄)

高級ゴム引 紳士用 オーバ型 十三圓

其外すべて法狀型は御好に應ず 御下命次第直に御届出來居候

京城光熙門外 朝鮮防水布製造所 電一〇一二番 振替五三七八

地方特約店募集

京日代理部及各地特約店にもあり カタロク進呈 御買求の節は商標に御注意を乞ふ

好評は富士山 ヨリモット高い

忠南儒城特産 西瓜糖

腎臓 膀胱 淋病 腹水 脚氣 消渇 病 炎 一瓶八十錢

特に確實に奏効す

京城日報社代部 振替京城三〇〇番

資本金 八千萬圓

拂込濟資本金 五千萬圓

積立金 壹千百廿四萬圓

本店 朝鮮京城南大門通 振替貯金口座京城三三二番

預金、貸出、割引、爲替、海外諸島、滿洲及支那諸港ニ於テ日本銀行代理店事務其他一般銀行業務ヲ取扱申候

支店出張所 内地 東京 大阪 神戸 下關 朝鮮 釜山 仁川 平壌 鎭南浦 元山 群山 木浦 清津 會寧 滿洲 大連 旅順 奉天 長春 遼陽 營口 安東縣 開原 四平街 哈爾賓 傅家甸 新市街 支那 上海 青島 天津 濟南 露領 浦鹽斯徳 米國 紐育

右ノ外倫敦、巴里其他内外國要ノ地ニ爲替取引先有之候

朝鮮銀行 總裁 野中清

東海生命保險會社 共同火災保險會社 相互保險會社 フシウヂユニオン火災保險會社

代理店 仁川本町四丁目 河野本店

化粧用

美顔水

白粉のトキ水＝美顔水で白粉を溶いてお附けになりますと、平生どんなにお化粧のしにくい方でもそれはく綺麗にお化粧が上ります

素顔の美しさ＝之も此化粧水に獨特の學理的の作用として有名です

―お顔によいのは長い化粧水―

桃谷化粧品研究所創製

まだ用ゐぬ人ありや

恐らく、それは不幸不憫な人です―

体の健全、愛の結合は、中將湯から

中將湯

主効 子宮病、血の道、こしけ、腰足冷込み、ヒステリー、逆上、頭痛、月經不順、帶下、眼痛み、不眠症、産前産後惡阻

定價 四十錢、一円 二円、三円、五円、十円

中將湯温浴 冷込を防ぎ 心まで温め 寒さ知らずで過される 是非家庭風呂に… 定價金一円 二人風呂五回分 送料無料

本店 東京 支店 大阪 津村順天堂

Pompeian

生氣のないお化粧は眞の美しさとは申されません。

シツクリと生地そのまゝに溶附いた仕上りの中に、潑剌とした生氣が溢れてこそ始めて眞の美しさと云はれます。マツサージ・クリムは眞の美しさを發揮せしむべき唯一の化粧料で美顔術には欠くべからざる基礎化粧料でございます。

ポンピアン マツサージ・クリーム

米國ポンピアン會社日本總代理店 東京 佐々木商店 銀座

皮膚病一切に

ホシチオールは痛みを去り、皮を造り、強大なる殺菌力と收斂性を有してゐます

ホシチオール

特効

肩の凝り、腰の痛み、切傷、打撲傷、挫傷、すりむき、くぢき、咬み傷、筋ちがひ、丹毒、濕疹、關節リウマチス、火傷、其他皮膚病一切に……

定價 廿錢 五十錢 一圓 一圓五十錢 二圓 四圓

東京 大崎 星製薬株式會社

産科婦人科 外科花柳病科 入院隨意 仁川濱町 鶴田醫院 電話七三四番

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 電話 光化門長 二八五番 二八六番 二八七番

○釜山支店 佐藤町 電一八四四番

○元山支店 海岸通 電一〇二番

○仁川出張所 海岸町 電三五一番

○京城代理店 蓬萊町 國際運送 電一一七〇

○元山代理店 吉田運輸會社

- 清津丸 三月一日 大阪行
- 會寧丸 三月五日 下關行
- 鏡城丸 二月廿七日 江原道行
- 立神丸 二月廿九日 敦賀行
- 平壌丸 三月一日 清津直行
- 京城丸 三月三日 清津行
- 京畿丸 三月七日 雄基行
- 釜山丸 三月七日 浦鹽行

○釜山代理店 大池回漕部

- 昌福丸 三月三日 東京行
- 忠清丸 三月廿九日 大阪行
- 會寧丸 三月八日 下關行
- 慶山丸 三月五日 鎭南浦行
- 京畿丸 三月四日 北鮮行
- 釜山丸 三月五日 西鮮行
- 宗信丸 三月一日 鬱陵島行
- 雄基丸 三月三日 江原道行
- 濟州丸 三月二日 濟州島行
- 大國丸 三月一日 木浦行

○木浦代理店 山野回漕店

- 昌福丸 三月二日 東京行
- ひさり丸 三月三日 大阪行
- 統營丸 三月廿九日 釜山行
- 公州丸 三月一日 濟州島行
- 興安丸 三月一日 多島海行
- 新羅丸 三月八日 仁川行
- 慶山丸 三月六日 鎭南浦行
- 江原丸 三月四日 清島大廻行

○仁川取扱店 郡回漕部

- 櫻島丸 三月二日 東京行
- 慶山丸 三月十三日 大阪行
- 漢城丸 三月十九日 鎭南浦行
- 新興丸 三月三日 木浦行
- 巨濟丸 偶數日 海州行
- 盈徳丸 三月二日 鎭南浦行
- 江原丸 三月六日 大連行
- 平安丸 三月十一日 安東大廻行

大阪商船出帆

仁川出帆

- ⑭大阪行(群山木浦經由) ◎第五晋州丸
- ×大信丸 三月三日午後三時出
- ×宮島丸 三月四日午後三時出
- ◎平和丸 三月廿四日午後三時出
- 一 三月九日午後三時出

鎭南浦行

- 千山丸 三月廿九日午後三時出

鎭南浦安東縣行

- △江蘇丸 十二月廿九日午後三時出
- △第七原田丸 三月 日午後三時出

元山出帆

- 城津、清津行 北丸 三月廿五日午後四時出帆
- 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 新高丸 三月廿三日午後三時出帆

大連出帆

- 上海福州基隆高雄行(但し○印は青島寄港)
- 湖北丸 三月廿三日午前四時出帆
- 福健丸 三月四日午後四時出帆

内地各港出帆主要航路

⑭歐洲行毎月二回 ⑭南米行一年十回 ⑭濠洲行毎月一回 ⑭北米行毎月二回 ⑭孟買行毎月二回 ⑭南洋行毎月一回 ◎印一等御斷 △印船客御斷

大阪商船株式會社仁川支店 電一貳・貳一〇・五五

京城内國通運會社支店 電話二〇七番

仁川京城通り盛旅館 電話二六番

事務代理 仁川本町 電話二八四番

荷扱 仁川港町 廣田組 電話四二二番

三菱商事 仁川出入

住神行 浦潮行 尾道阪神行 帆

- 大黒山丸 十二月廿日入港 十二月二日出港
- 第二御崎丸 一月十日入港 一月十三日出港
- 鎭南浦行 長浦丸 十月 日入 十月 日出

三菱商事株式會社船舶部 仁川代理店 浦崎商店回漕店 仁川本町四丁目 電話長五〇・長三〇・五長一〇八番

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）

京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社
電話光長四〇一番 振替京城三〇〇番
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介

英國の軍艦新造

華府條約既に批准されん

軍備縮小を以て世界平和策の基調と爲し、また歐洲不安の現狀を救濟するの第一策なりと公言する英國の勞働黨內閣は、英國國防上の最低限の調整なる巡洋艦の先頭を否定し、「飛行機を增加せんよりは寧ろ巡洋艦の氣流を改むるに如かず」と聲明し、けふは突如として巡洋艦五隻を新造するの計畫を發表した。勞働黨內閣の國際進路に關する方針が未だ不定なるを痛感せしむるに至つた。新造巡洋艦の理由とする所は（イ）主として造船職工の失業を救濟するの必要に應ずると同時に（ロ）新造艦は單なる補充に過ぎずして全然新艦に非ざるの二點に外ならない。首相マクドナルド氏も造船職工の現狀を詳說したる上に此計畫がボルドウヰン內閣案の一部を承繼せる所以を述べてある。失業救濟の爲めに軍艦を新造するの是非は玆に論ずる迄もなく恐らくは一時の『迷ひ』に過ぎぬものと思考されるが、問題の焦點は新造艦が軍備縮小の政綱並に世界的必要を前にして如何なる影響を齎すかに在る。果して單なる『補充』に過ぎざるか。また軍備縮小の精神に抵觸することなきか。英國巡洋艦の相對的勢力より推算すると右五隻の新造は、決して單なる『補充』に過ぎずとは信ずることが出來ない。隨つて其計畫は直に勞働黨內閣の第一政綱と撞着する次第を指摘することが出來る。此に一位英國が戰後一隻の巡洋艦をも計畫せざりしことは事實であり、ボルドウヰン內閣が補充計畫として八隻の建造を欲して居たことも事實だ。何時かは補充の秋を迎へねばならぬのであるが夫れよりも根本の大問題として考へねばならぬのは巡洋艦の勢力比を向うするかの一事でなければならぬ。現に英國の現勢力は米國を凌ぐこと少くとも二倍以上に居り、假に戰艦では三倍にも四倍にも利用の出來る大勢力を持つて居るのだ。ド級巡洋艦とも云ふ可きカレージアス級二隻（十五吋砲四門搭載）の外に四十八隻の巡洋艦を有し、其中からチヤタムカロライン級の一九一三年型を除くも尙二十七隻を持つのであるから、米國の十隻に比して決定的に優勢である。「同等の海軍」を認められた米國が巡洋艦の增勢を說いて止まない一因も實に玆に在る。戰爭の危險が形勢の如し、若しも英國の五隻新造が實行されゝば直に米國の巡洋艦を刺戟すること明瞭に斷じて見る可く勢ひ日本の海軍にも影響するのみならず華府以後頻りに巡洋艦の製を力說するフランスの海軍擴張を促進するとも殆ど疑ひなしと信ぜられるのである。仍て華府條約の精神も阻礙される結果となり、由々敷き國際問題を惹起するは明白である。英國勞働黨內閣が巡洋艦勢力比率の大綱を定めずに直に補充計畫に就かんとしたのは自由黨は擧つて反對し、勞働黨中からも反對者が現れ、政府案は決定を見るに至らないが、本計畫の影響する範圍は上述の如く甚だ大であるから今後の成行如何に就ては日本としても大に注目するの要があること勿論である。

景氣と不景氣【上】

法學博士 宗賀勸重

現在經濟界の趨勢は歐洲大戰後に於ける世界經濟界の不況の惰性に因り一般的に言へば頗る芳しくない、未だ景氣挽回に至らないが元來世間では經濟政策なるものを信じ過ぎる嫌ひがあると思ふ、例へば政府や政黨等で根本的經濟政策を立つと云ふ事をとなへるが抑も根本的に經濟政策を樹つる等と云ふ事は望まれない事であつて經濟界の復興と云ふが所謂景氣を盛り返す最も力強い確實なものは要するに人の努力に依つ外はない。而して經濟のみでなく政策と云ふものは薄いもので工業經濟方面にも其效果は一概に出來ず到底不況から好況へと一轉するに止まる位のものである。然るに世間には兎角經濟の現狀及び將來に就て悲觀說を唱へる者と樂觀說を唱へる者とあるが、此兩者の說がどうして相反し然れるかと言ふに政府政黨の說では悲觀者は何時でも悲觀するが樂觀者は何時も樂觀して居ると言ふが其原因のことは何時になつても現れず唯だ不景氣だと悲觀するやうである。好景氣とは何かと言へば玆に面白い事には好景氣は何人も歡迎するが好景氣は不景氣以上の所得がある時は景氣から來る。好景氣とは良いか惡いかと言へば國內物價の騰貴する處を言ふものであるが、而して好景氣は物價の騰貴と物價の續く間は良いから好景氣と物價の騰貴とは常に相並行するのが普通の現象であるにも拘らず之を好まぬ所は矛盾にも甚だしい。而して好景氣は消費者又は俸給生活者は好いけれど不景氣の場合は生產者は非常に困難を來すのである。例へば月給少く物價多き時は必要物資の需要の增大に從つて持ち直すもので需要の增大に從つて供給少きに失するものであつて作る者は利益を得、買ふ者は損をするといふものは常に並行して高まるといふものを常態としてゐるからである。

產業政策の確立

日本石油社長 內藤久寬

凡そ何事も其發達の初期に於ては粗雜にして抽象的なる議論の行はるゝは已むを得ない處であるが、其漸次進步すると共に復舊の如き程度に滿足する事が出來なくなつて論議緻細に入り具體的となり甚だしきに徹して政を行ふを普通とする。然るに我國の政治は如何なる故か此の自然の法則に據かず憲政布かれて既に約四十年に及ぶも甚だ論議の頗る抽象的なること殆ど此間何等進步の跡をも認むる能はざる程である。之は日本には歐米に於けるが如く緊要なる問題なるものがあつて此の政治は之を打破する努力の急に迫はれ又他を顧みるの遑なかりし點であるとも云ひ得やうが、夫れにしても餘り政黨自身が時勢の推移に無頓着であつた責は免るゝ事が出來まい。就中經濟上の諸問題に對する各政黨の態度に至つては其冷淡なる驚くべきものがある。今日我國の基礎は殖產興業にあり、政黨を度外視しては國家を云々すること能はざるに拘らず在來の政黨は寧ろ之を以て枝葉の問題とせるが如く其振興發達に關して殆ど何等の調査をも行はず從つて議會に於ても經濟上の問題に關して權威ある言論を聞ける事は絕えてなかつたのである。英國に於ける二大政黨たる統一黨と自由黨の如きは十九世紀末より關稅政策に就き國論を二つに分けて統一黨は保護政策を執るべき事を主張し、自由黨は自由貿易を主張して兩々相下らずして今日に及び遂に此問題が因となり最近の政變を惹起し政權は勞働黨の手に落つるに至つたのである。米國に於ても共和黨は保護主義を主張し民主黨は自由主義に傾き政爭に於て此兩大問題に關し激烈なる論戰を見ることが屢々ある。自由主義と保護主義の是非に就ては今之に言及することを避けるが英米兩國の政黨が左に關する見地より國內產業振興の爲に研究論議の怠らざるは洵に敬服に堪へぬ次第である、之を我國の政黨が十年一日の如く空疎の政論に終始し一意唯政權の爭奪に熱心しつゝある狀に比すれば正に雲泥の差ありと云ふべきである。吾人は政黨が今少しく世界の大勢に鑑みて注意する處あり產業の方面に對して注意を拂はんことを望むものである。其結果は必ず經濟政策の如き上り確かに國民に福利を與ふべきは今更云ふ迄もあるまい。

火保及失業問題（三）

法學博士 福田德三

そこで我々はこゝに飜譯して問題は復興經濟の實現を期するに如何なる方法を採るかである。第一に外國貿易を盛ならしめること、第二に國內にあつては分配の理想を現實化すること、これは國の生產を充足する上に是非共選ばなければならない法則である。そして此の復興經濟の如何に依つては九月一日の物質の損害も經濟上の損害にならないと思ふ。要するに其損害を少くしやうと云ふ事が此の際の一般國民の覺悟であつて、復興問題の核心である。十一月の調査によると失業者が十萬人あつたと云ふ。これは今まで日本に於て無駄な勞働者が多かつた事を證明するのである。例へば旅館などの女中、そんなに入手は要る筈がない。ゴチヤ／＼と女中や男が居た、そして今度の震災でさうした職を失つたものは小資本で出來る物屋其他を始め、東京を小資本のパラダイスと化した。がこれは素より一時的の現象である。此の際この失業者をどう解決したら勞働をなし得るこの他の人々を數へいかに機々の議論もあらうが私は災前の如く無駄に使はず、より有效に生產力增加の爲に使用すべきであつて彼等が有效に働ける機關を早く國家なり私人なりが提供せなければならないと思ふ。

次に火災保險問題である。日本の『火保契約細則』などとは、言語道斷であると私は考へる。實に人間の風上に置けぬものである。日本ではしない一日前に其規定を變じて來るこの違ひが全部を說明してゐるのであつて日本の保險會社は被保險者の際に乘じて相手を欺かうとしてゐるのだと云つても過言ではないで此度の支拂ひ云々では私には支拂は兎も角保險會社の私人經濟を排斥すべきであると思ふ、殊に此の際國民心の會社を離れたのに乘して保險會社を官營にして損害保險（其能力はあると信ずる）其上に大きいものを後にして小さいものに支拂ふやうにすれば上に働く下に働くと云ふ批評も一掃されて、その上に當局の生產力を向上させる爲めに可なりの力になると思ふ、卽ち現在の保險制度の實施である。この實施を待つと共にどうしても保險會社の官營論を主張せざるを得ないのである。是は一般保險者の立場にのみ依つて言ふのではない所である、まづ官營にして損害を分けることで、此の際の第一難關である。今日の復興の資に供する時的ではあるが復興の資に供することにも復興經濟の一端が見られると信ずるのである（完）

種の話

◇要塞司令も金次第　支那の海に勤務して居る一英人が六ヶ月間の休暇を得たので支那各地を旅行する中支那の要塞があつたので司令官を訪問した處一應は拒絕されたものの金を少し握らせた處、其司令官は態度を一變して要塞內の秘密をも知らせたと云ふ（上海英字新聞所載）

◇アカンベーが最敬禮　ブラジルのアマゾン河の上流地方、首長の處にトーマーといふ小村がある。此處では現代の文化と全くかけ離れた時代で其の住民は文明人にも接せず土人は原始狀態の生活をしてゐるが、此處を探險した米國の探險家が土人の眼の前で試驗を行つた時アカンベーをしながら手を出して見ると土人等が驚いて來るのでよくよく見ると土人等が判り米人の方でアカンベーをして驚いた處土人等は大層喜んでゐたと（米國地理學會雜誌所載）

中央公論

三月號

◇二月廿三日發賣◇ 定價壹圓 東京 中央公論社

- 口繪「桃源圖」…小杉未醒
- 公爭と私鬪…卷頭言
- 社會進步の純粹原則（續稿完結）…杉森孝次郎
- 英國最初の勞働黨內閣と其政策…米田實
- 獨逸復興問題に就て…高岡熊雄
- 現代民衆の宗教的信條としての社會主義…井上忻治
- 財政的信用の所謂三等國に陷ちたる日本…堀江歸一
- 又しても政府の宗教商利用…高島米峰
- 世界戰爭の產んだ二大人物の死
  - レーニンの死…片上伸
  - ウィルソンの死…內ヶ崎作三郎
- 紛々擾々たる政界の歸趨如何
  - 短命聯立內閣を造れ…水野廣德
  - 混沌たる現政局觀…三宅雪嶺
  - 當分小黨分立を希望す…安部磯雄
  - 妥協政治は尙續く…林癸未夫
  - 紛々擾々たる政界の歸趨…堀江歸一
  - 政變の機會價…杉森孝次郎
- 小說 或る女の生活…藤村千代
- 戲曲 袈裟の魂…長田秀雄
- 小說 花子の訪れ…宮地嘉六
- 貴族氣質の研究
  - 日本の貴族の存在心理…白柳秀湖
  - 貴族氣質の四分類…三宅雪嶺
  - 大名の御役騷ぎ…三田村鳶魚
  - 今の華族は富める平民…前田蓮山
  - 清浦水野大木…矢田挿雲
- 詞華 南信州の歌二百首（其一）百首…與謝野寬
- （其二）百首…與謝野晶子
- 短命內閣沒落秘史…高須芳次郎
- 福太郎幸兵衛炬燵政談…生方敏郎
- 蔦溫泉籠城記…大町桂月
- 塔の上から大紐育を見渡して…佐々木指月
- 時論 政界風雲錄…法學博士 千虎俚人

生徒募集

第一學年 願書受付 三月五日ヨリ三月二十日マデ
試驗 三月二十四日
○本校修業年限ハ五年
○詳細ハ本校ニ問合スベシ
開城公立商業學校

保險金受領廣告

一金壹千圓也　被保險人 野崎文三郎
右大正十二年八月二十二日帝國生命保險株式會社ニ保險契約ヲナシ大正十三年一月八日死去ニ付忠州代理店ヲ經テ早速保險金拂渡相成忝ク領收致候也
二月二十五日　受取人 野崎スミ

皆樣の御便利のために
一、一口、五十圓、百圓の小口保險をも、此際お取扱ひ致します。
一、保險金の支拂の、迅速、親切なることは我社の最も誇りとする所であります。
日本一 帝國火災保險株式會社 社長 小原達明
本社 東京驛前丸の內ビルデング
支社 小樽・仙臺・東京・橫濱・名古屋・京都・大阪・神戶・福岡・京城・大連

最新刊

小山內薰著 子…白／佐藤春雄著 美人／上戶泉六著 鸞…親／加藤智學著 龍樹の宗教／齊木仙醉著 有進化論／井上勇譯 ドン・シュアン／奧村安太郎著 南米移民研究／早川鐵三郎著 民事訴訟法論／南江二郎著 城の戲曲／平林、大西譯 運佛諧年表／瀧川幸辰著 統計學概論／菊地幽芳著 彼女の運命／中戶川吉二著 中戶川選集
大阪 東京・京城 振替 本局 玄文社

東京學校一覽表

定價郵稅共一部金五十錢也（切手代用は三錢切手九枚の事）
發行所 東京市外西巢鴨町三家 振替東京四六八四五番 帝國學藝通信社

養鷄

世界中の優越せる種鷄數種飼養す
御照會は郵券三錢を要す
全羅北道群山府外　井內果樹園養鷄部

苗木

櫻、梨子、林檎、桃、栗、柿、桐苗、其他山林用…
御申越次第定價表進呈仕り候
仁川敷島町　仁川種苗園 電話二七三番

京城自動車講習所

自動車界益々有望 ● 規則書呈 京城府黃金町三丁目

時計と寫眞機

貴金屬 寶玉石 銀器 銅器 錫器 活動寫眞機 幻燈機 名種材料
京城本町壹丁目　株式會社 大澤商會京城支店

獨逸 英國 毛糸

直輸入元 世昌洋行　仁川・京城太平通二丁目
賣捌元 德興顏料廠 毛糸部

原田商工社　元山府泉町三丁目 電話長七三六番
松丸太 松角材…

奉天 ミヤコホテル

急告

大邱東雲町 大邱養鷄組合

種卵種禽

福岡產婆學校 ◎產婆生徒募集

一反の値段で二反買へる

大島名物紬…（四五割安）

哈爾賓 北滿ホテル　大食堂にて每夜ロシア名物カバレー劇を開催致居候
ロシアを解せんとせらるゝ御方は先づ當地へ御來遊願上候

京日案內

募集・古本・乳母・賣地・讓店・貸家・外交・空箱・求職・特別欄・バイオリン尺八・特許 關嘉八郎 …

ヴエルサイユ條約について 勞働政府攻撃
英國下院保守黨火蓋を切る

【倫敦二十七日發電】英國勞働政府新大臣アーサーヘンダーソン氏は其選擧演説中ヴエルサイユ條約を攻撃し英政府は之を訂正する意嚮ありと斷言したので下院に於ける保守黨は政府に對する攻撃を再開したが首相マクドナルド氏は之を切らして政府はヴエルサイユ條約については未だ何等決定して居らぬと說明した

白國內閣辭職

【ブラッセル二十七日發電】白耳義代議院に於て佛白經濟協定が七十九對九十五といふ差で否決された爲めチユニス首相以下閣員は總辭職した

日獨通商條約の締結を獨大統領望む
本多大使より信任狀を捧呈

【伯林二十六日發電】新任獨逸駐箚日本大使本多熊太郎氏は本日大統領エベルト氏に謁見して信任狀を捧呈した本多大使はエベルト氏に對し兩國民の平和と友情を增進する爲めに全力を盡すべき旨を述べた、これに對しエベルト氏は答へて曰く、兩國の學術的關係が喜ぶ可き狀態にある事は日本が獨逸の教授を招聘し學生を獨逸へ留學させて居る事實に徵しても明に證明されて居る、余は更に兩國の經濟關係を改善し速かに日獨通商條約の締結を見るに至らん事を希望するものであると

フライシャー氏賞金を受く

【フイラデルフイヤ廿七日發電】ジヤパン、ダヴリウ、アドバタイザー社主ビー、フライシャー氏の兄弟なるサミユル、フライシャー氏はフイラデルフイア市政に貢獻した故を以て一萬弗の賞金を受けた右賞金はエドワード、ボック氏の創設に係り市政に貢獻顯著なる者に年々賞金を贈るのであると

青島還付賠償金支拂問題
芳澤公使より抗議

【北京二十七日發電】青島還付賠償金千四百萬元に對する支拂程度につき芳澤公使は是非とも支拂へとの抗議を爲した

誤殺事件解決までは
尚ほ多くの時日を要する

【東京電報】昨年九月震災當時在留支那人の誤殺事件に付き支那は今回芳澤公使に對し其反省を促して被害者の慰藉並に陳謝、將來の保證に關し要求して來たが未だ外務省には其回答が到達してゐないから一應問題の上之に對する方針を決定することになつてゐる聞く處に依れば支那側の調査は何れも自國人の說を列擧したもので法理的には何等根據がない從つて日支兩國の調査には多大の隔りがあるから交渉の前途は容易でなからうと

四洮鐵道
延長する計畫

【奉天二十八日發電】四洮鐵道延長の件は洮南より昂昂溪を經てサクロンザンに至る線を附設すべく豫算百二十萬圓にして奉天省及四洮鐵道當局が八十萬圓支出し殘り四十萬圓を沿線市民より出資せしめる事とし中間に六箇所の驛を設置する計畫であると

回教徒參政運動

【北京二十八日發電】全國回教徒は議會の參政權を得べく運動を開始し其請願書を提出した

武器運搬抗議

【奉天二十八日發電】民國八年天津伊太利租界の倉庫內に運搬保管中の武器二十七萬車價格五百五十萬圓の武器は本月二十二日、二十三日の兩日に三家店に運送されたに對して張作霖氏は抗議を爲したる處全然此の事實なしと

支那代表墓參

【莫斯科二十七日發電】駐露支那外交代表は二十七日著任レーニン氏の墓に詣でた

日露會議開始は
希望するが方法が面倒だ
カラハン代表と芳澤公使交渉內容

【北京二十七日發電】芳澤公使と勞農露國代表カラハン氏との會議內容に關し露國側の發表次の如し
芳澤公使は露國側の森林及漁業權問題撤回及沙漁領事の退去命令並にロスタ通信員に關する問題に就て述べた後日本政府は日露正式會議を開いて國交の回復を希望してゐる旨を告げ尚ほ右に關する唯一の困難は會議開始に至る實際方法の發見にあるのみである事を附言した、カラハン氏は之に對し政府の訓令がない限り右問題を計議する資格が無いから勞農政府に對する日本政府の慣實の處見に關する再考要求及ロスタ通信員に關する日

鮮人教育の私立學校

要求に應じきれない現狀で之が…策として私立學校が官公立の學校と共に鮮人教育の發達に…のものが三百八十七校である、私…立學校の一部多い地方は平安南道…[illegible]

四人殺し
犯人は娘婿か

女サイ一家の一家四人が何者かに慘殺されて居…犯人は未だ判明せず聞く所に依れば…[illegible]

日暮里大火
約二十戶燒失

…消防隊出動し防火に努めたので約二十戶を燒失して同十一時半鎭火した（東京電報）

郵船近海部で
支那船員雇入

【東京電報】三菱郵船部と合同した日本郵船會社の近海部では最近本政府の再考に鑑み日本乘組員の雇傭に就ても暫時猶豫を求むるの意志を勞農露國政府に通達する事を承諾したが、何故か支那船員を續々雇入れつゝあるが右は早くも同會社側が手當半減案明日四月が切迫せるを以て當時の爭議を豫想しての行動ならんと見られてゐる一方會社に對する日本海員總會では目下會社の眼を殺りつゝあるが組合では其時の態度に付いて寄り〳〵協議してゐる

罹災私立大中學校へ
低利資金を融通する
中學へ百萬圓、大學へ五十萬圓

【東京電報】震災の爲め各私立大中等學校の蒙つた打擊は頗る甚大なるものがあるが文部省では應急復興費として四百五十萬圓の低利貸付を爲すこととし十三年度追加豫算中に計上したが豫算不成立の結果四百五十萬圓中十二年度分貸付額百五十萬圓は緊急已むを得ざるものとして公債に依り貸付支出を爲すことに決定し二十七日閣議の同意を得たので愈々近く各罹災學校に對しそれ〴〵貸付されるであらう而して此の貸付額百五十萬圓中五十萬圓は大學及專門學校二十校に、百萬圓は中等學校七十校に割當られて居るが貸付條件は年利五分、五ケ年据置、三十ケ年償還の方法を採ることになつてゐる尚殘額三百萬圓は特別議會の協贊を經て交付する筈である

東京前市長以下に慰勞金

【東京電報】二十七日東京市參事會秘密會で後藤前市長以下の在職中の功勞に對しそれ〴〵左の如く慰勞金を贈呈する事に議決一致可決した、

後藤前市長　十萬圓
池田前助役　二萬五千圓
前田前助役　二萬圓

憲政會の遊說決定
加藤總裁は九州方面へ

【東京電報】憲政會では既報せる十一ケ條の政策を振翳し選擧民に徹底せしむべく大體三月上旬から大遊說を爲すことになつてゐるが加藤總裁は三月中旬頃一行を引率して先づ九州に向ひ若槻氏の一行は山陰山陽方面に、濱口氏一行は東北、北海道方面に永井柳太郎氏一行は北陸方面に濱口雄幸、安達謙藏氏等は四國、中國邊を指して夫々遊說を爲す手筈になつて居ると尚は四月十日加茂丸にて鷲田信太郎氏は同十九日コレア丸にて臨港を出發するが川村竹太郎氏は三月出發の豫定である

日銀帳尻（廿七日）

發行高 一、二〇一、[illegible]
準備高 一、[illegible]
限外發行 [illegible]
貸出高 [illegible]

東京コール（廿八日）

翌日二錢一厘—三厘（一厘高）
無條件二錢三厘—四厘（保合）
普通二錢三厘—四厘　同
月越二錢三厘—四厘　同

大阪金融（二十八日）

翌日物二錢四五厘と二三厘高を演じ其の他は無條件出來ず月越二錢一四厘と前日と變りなし

萬國議員會議
日本側出席者

【東京電報】來る六月十二日ブラツセル市にて開催の萬國議員會議に貴族院より參列する西尾忠方子…

產業開發上慶賀すべき 養蠶業の勃興
婦人の指導を受ける者が殖えて來た事は殊に喜ばしい

殖產局近藤事務官語る

朝鮮の副業としては最も家族的に出來、且つ多大の收入がある爲に於て蠶業が其の大宗とされて居るが、過般の蠶業技術官會議の模樣により現在の朝鮮の蠶業狀態に付近く語る所によれば、朝鮮の蠶業事務官の語る所によれば、朝鮮の氣候に對しては非常に適當して居たのである。然るに朝鮮の時代其指導獎勵よろしきを得なかつたため、理想の蠶業を見る事が出來なかつたが併合以來總督府では極力此方面の獎勵を行つたため自然鮮人の思想も此の方面に向ひつゝあつたが、最近となつては各道とも一層此方面に全力を注ぎ、それが爲めには桑の栽培から先づ改良せねばならぬと云ふので、現在では苗圃とも桑の手入に關し…などを設けて桑の手入に對し非常なる

獎勵を 行ふ狀態となつた、加ふるに此の指導獎勵は最近では比較的效果が顯いと云ふので此の三、四年前から各道で一部落なら一部落に對して、或る一箇所に集中指導を行ふ事を獎勵して以來各道とも之を實施して居るが其結果は甚だ良好の樣である。更に或る道の如きは集中飼育などをも行つて居る所もあるが、之も甚だ成績よく眞に喜ぶべき事である更に販賣方面に至つても、組合を組織するとか、或は共同販賣をなすとか、種々の方法を以て品質の統一が圖られて居るので、これも種々好結果を齎しつゝある事であるが、尚最も喜ぶべき傾向は、此の蠶業は婦人に最も

理想の 職業であるに拘らず、朝鮮は慣習として、婦人の中に男子を入れる事を忌むして居た。これが爲め蠶業を婦人に指導すると云ふ事は、甚だ至難な事とされて居たが此の弊を矯すため女子蠶業講習所を設けて、此れ卒業生を派遣し指導せしむる方法を採つたのである。然るにそれも最初は卒業生が外に出るを嫌つて居た傾向があつたが、最近では其風が一掃されて卒業生も出るし、又これによつて各地の婦人も熱心に指導を受けると云ふ傾向が濃厚となつて來た。これが爲め漸次養蠶熱は勃興しつゝあるが、これは啻に朝鮮の蠶業發達上慶賀すべき現象であると云ふ

鮮殖銀監理官

朝鮮銀行監理官は從來總督府理財課長水口隆三氏にして殖銀監理官は同財務課長井上主計氏であつたが鮮銀移管實現の前提として二月二十日附大藏省銀行局長松本脩氏は鮮銀監理官となつたと同時に總督府側監理官は財務局長和田一郎氏となり水口隆三氏は殖銀監理官となり井上氏は自然退任となつた

朝鮮線の營業費
滿洲及省線に比し非常に割高である

朝鮮線の營業收入百圓當りの營業費は大正六年の五十六圓を最低記錄とするが其前後は七十六七八圓を普通として八十圓を超過したこともある然るに之を滿洲線及鐵道省線と比較すると滿洲線の營業費は收入百圓當りの五十圓に達したことなく最近の最高記錄は大正八年の四十九圓で鐵道省線の營業費は最近增加の傾向があるがそれでも大正九年は六十八圓であつて前年の大正八年は六十圓であると

溫突改造普及成績

京城府に於ける溫突改造普及成績は一月迄の累計改造戶數千七百七十六、朝鮮人八萬五千八百八十六戶に對し溫突間數內地人二千二百三十、朝鮮人十六萬九千八百九十九、外人十六であると

家畜市場取引狀況
殆ど全部が牛で一昨年は賣買頭數五十七萬餘頭に達す

朝鮮に於ける重要物產の一である牛は鮮內各地の到る處にある家畜市場で賣買せられてゐる、家畜市場と云つても取引せられてゐるものゝ大部分は牛であつて馬の取引があるが其數は殆ど數ふるに足らない其他の家畜は在來市場で賣買せらるゝから家畜市場と云ふ方が適當である、この家畜市場は在來の普通市場と同じく市場規則に依つて設置せられて居るもので府又は面が經營の主體であるこの家畜市場に於ては畜產組合より賣買仲介人を派遣して賣買者又は組合員の賣買に便宜を與へてゐる

本來家畜市場は家畜なる特殊のものを取扱ふ關係上之が經營と其發達を期するには特殊の智識と經驗を必要とするばかりでなく衞生上又取引上の安全を期する上からも特別なる人的及び物的の設備を要するものであるが實際之が經營の主體である面では其完備を期し難い狀況にあるから將來これ等に於ては相當考慮を加へる必要があらうと思ふ大正十一年の家畜市場の狀況を見ると鮮內の市場數は七百六十四箇所で其市場の家畜數一百卅四萬二千四百五十一頭で此內賣買せられた頭數は五十七萬五千四百五十六頭である

收繭額の激增

昨年中に於ける收繭額は昨年は二十萬餘石で一昨年に比し四割五分の增加である…千五百八十六戶、夏蠶九萬七千百七十二戶、秋蠶…と見ると春蠶…[illegible]計五十七萬八千九百九十四枚である、因に收繭額を見るに春蠶十七萬三千三百二十二石、夏蠶九千四十六石、秋蠶二萬五千二百十石合計二十萬七千五百七十九石である大正十二年と同十一年度とを比較してみると飼養戶數では春蠶五萬九千七百七十九戶（一割七分九厘）夏蠶三千七戶（八分七厘）秋蠶一萬七千四百十三戶（二割一分八厘）を增加してゐる

蠶種掃立枚數

では春蠶五萬三千八百八枚（一割四分五厘）夏蠶二萬二千六百六十九枚（十分二厘）秋蠶二萬二千六百八十六枚（二割四分九厘）合計七萬九千百六十三枚（一割五分七厘）の增加を示し收繭額では春蠶五萬四千六百五十六石（四割七分八厘）夏蠶二千七十六石（二割九分八厘）秋蠶八千百五十六石（四割七分八厘）合計六萬四千八百八十八石（四割五分）の增加を示してゐる昨年は飼育期中の天候が概ね良好であつたのと一般農家の蠶業獎勵の趣旨に依つて農家の飼育戶數や掃立枚數の增加したのとも一つは蠶種の普及飼育技術の向上の結果斯く良成績を示したのである

京城局の區長線路
分擔課區を改正

京城郵便局管內の集配區域の區長線路は九百里に達し延長四千百里に及ぶ…[illegible]…改正後に於ける區域は左の通りである

第一區　京城府內全部
第二區　京畿道南部忠南北一部
第三區　京畿道北部江原道一部
第四區　仁川府內
第五區　全北一圓忠南一部
第六區　忠北一圓忠南一部

殖銀新行員採用

朝鮮殖產銀行は每年四月の學校卒業期に新行員を採用して居るが今年も既に卒業期の近づくと共に各方面より相當照會ある模樣であるが同行の方針の今日なれば同行今年度の新行員としては甲種卒業程度のもの十四五名の採用に止むる事となるらうと

客月移輸出入小包

大正十三年一月中に於ける移出入小包郵便物數は、移出四萬四千九百四十個、移入七萬七千五百卅三個にして、前年同月に比し移輸出二割九分、移輸入七分八厘の增加である。

公會私會

◇郵便從業者總親會　廿八日午後七時より朝鮮ホテルに於て今回主要郵便局長の來城を機とし遞信局並に在城從業員側との大懇親會を開催したるが來會者百五十名に達し非常の盛會であつた

人事消息

▲福井武次郎氏（鈴木商店遞酒部大邱主任）京城支店遞酒部主任被命
▲杉浦伊兵衞氏【同京城主任】名古屋支店遞酒主任として二十九日夜十一時五十分京城出發赴任
▲貞永治輔氏（陸軍二等主計正）朝鮮陸軍倉庫長新任挨拶の爲め廿八本社來訪

ヨシアシ

◇朝鮮人學生の大部分は會社員、京城に掲際間際、…學校組合に選擧權擴張間際、ザツトこんなものだす。」
◇お隣では安州觀察はゴタ〳〵してゐる、平壤はサゾ淋しいでしやう
◇校長となる。」
◇平山好古大將が私立北豫中學校の校長となる。」
◇松方公爵の逝去はマタ喧だとの松方公爵の…
◇政友本黨で乃伊木とりが乃伊木となつた總大將は床次さん。」
◇池田泰山議伯目眠取一の班。

京城學校組合會議
第二日 小學校費第一讀會終る
體育獎勵施設についての論戰

京城學校組合會議は二十八日午後三時廿九分議員十二名出席の上開會した谷議長が前日に引續き第二議案小學校費第一讀會に入るを宣するや否や突つ立つたのは

松本議員 當局は小學校の擴張及施設經營並に義務教育年限延長案等に對し一定の計畫と方針とを樹立して居るや如何?谷府尹の答辯を求むと切り出した

谷府尹 施設計畫及び實行等が今日の現狀で完全だとは認めて居ない、併し今日直に根本から計畫せねば行詰ると云ふ程の事もないので本豫算は先づ差當りの必要に應じて編成したのである、組合經營の教育施設は今日の所先づ一段落を告げたと云ふ姿で之れ以上の施設を爲すには第一經費を要する問題で組合員の負擔も考へねばならぬ所である、何か特殊な財源でも見付かれば現在以上の根本計畫樹立の必要あるものに對し充分調査の上樹立する豫定である

松本議員 更に南山小學校の開校期、關係學校及び區域變更に就いて質問し

澤村番外 開校は四月の豫定で豫算が決定した上で設立認可申請を出す筈で差當り十四學級とし結局は廿八學級に擴張する見込であるが區域變更は未だ發表するに至らぬと答へ

橋本議員 教員給、出張旅費、修繕費、式日費等の算定基準を質し且體育獎勵費の減少されたるを遺憾とし兒童の缺席狀況を引例して冬期鍛錬の必要を力說す。澤村番外遂に之に答へ更に橋本議員との間に質問應答あり

寺尾議員 修繕の實況から見て修繕費が三千圓減額されたる理由如何

澤村番外 減額したのは當局としても遺憾に思ふが實際に於て修繕は不行屆ながら豫定以上に實行して居る

と之に關し寺尾、秋山議員との間に質問應答あり林原議員、教育者側の間に體育施設を論じ

片桐議員 採暖法に關する研究の現狀と保護者會の發達助長に關する方策を問ひ

澤村外番 採暖試驗は冬期溫暖の爲め充分なる結果を得なかつた旨を答へ尚ほ保護者會に關しては各學校に注意して寄附などを賣はぬ樣にしてあるが自發的の寄附行爲は此の限りにあらざる旨を答へ加藤番外、實驗の經過を報告して確信ある結果を得なかつた理由を述べた

寺尾議員 天井、壁、床等を塗替するに要する經費如何

駒田番外 新ならば一教室三十圓位ですむが之は每年塗替を要し且つ火災等の恐れもあるが之を總板にすれば一教室約百二三十圓を要する

秋山議員 採暖研究と共に石炭節約に關する研究の必要を述ぶ

橋本議員 缺席兒童が普通學校兒童に比して多いのは何に原因するか

澤村番外 朝鮮人兒童に比して耐寒力が弱つて居ると思ふ

橋本議員 然らば如何にして缺席兒童を少くするか、中等學校入學準備の爲に體育が顧みられて居ないと云ふ傾向はなきや

澤村番外 豫習教育の弊は充分に矯正せねばならぬ、本年も稍々緩和されたであらうが來年度は大に緩和するであらうと思ふ、體育に關する經費が多いと云ふ事が直に體育ではない、設備も必要ではあるが積極的に體育は掛け十ともあると思ふ、耐寒訓練なども然りである

林原議員 學校衞生上京城の兒童に對する加藤番外の所見を聞きたし

加藤番外 京城の兒童は內地兒童に比して其の教育狀況は決して劣つて居ない、と答ふ

田代（佐）議員 國民教育の根本は精操教育である、豫算編成に此の考慮がないではないか體育獎勵費等は今少し積極的に計上されたし

此の時質問終結の動議…第二讀會に進むべしと叫ぶ

高久議員 昨年の豫算が殘つたと云ふので其の殘額を何故に本年度に削減したるか

澤村番外 之は前年の豫算が殘つたのではない、と答へて質問終了

小學校費第一讀會は終つたのは五時五十分

在滿鮮人の思想漸次穩健（下）
生活安定策として金融機關設置
哈爾賓駐在 山崎總督府事務官語る

此外鮮人の爲めには多年間の關係として東支沿線の一帶に居住する鮮人をして滿鐵の請負をも爲さしめた勿論之は不成功に終つたが滿鐵の大鐵理事は自分の乞ひを快よく容れられて此の新附の同胞を救ふ目的の爲めに尋常なれば資力信用のある者の內より更に而爭入札に依つて納入せしめらるべき枕木を隨意契約を以て五萬本の請負を託されたので之は云ふ迄もなく成功に終つたが滿鐵の此の好意は勿論東支沿線の一般鮮人が非常な好感を抱くに至つた滿鐵としては更に教育事業の上にも渺からぬ援助を與して居る

翻つて在住鮮人の思想方面を觀つて見るに從來西伯利亞地方は移住の歷史久しく其古い者になると六七十年に達する者もあり思想は穩健であつたが北滿地方は殊に獨り生活上の失敗者が多く占め不逞漢の往來又甚しく

支那警察力 の不徹底も基因してハルビンと言へば不逞者の巢窟の如く考へられてゐたものであつた然るに近來に於ける彼等の態度は非常なるもので吾々の努力の結果と又一面總督府の派遣員の紹介に依り或は自ら府の視察に依つて朝鮮現狀の變化の…

政治を知るに至つて思想はとみに穩健となるに至つた例へば自分が或不逞者と會見した際に彼の朝鮮の要望は高等普通學校數を增して一般を吃しめ常に日本政府を呪咀した彼等が鮮鐵の意を表したことであるに至つて現政府の態度に相手にしなくなつてゐる更に上海假政府の威信も今は地に落ちてゐる又哈市及び滿洲方面に於ては鮮人の爲めに普通學校と同樣小學校を設立し將來高等學校の如きは朝鮮內高等學校として

朝鮮大學に 入學せしめんと希望するに至つた總督府は之等可良な住民と相和して北滿の地に彼等の安定を計らしめたいと思つてゐる北滿は歷史的にも鮮人の地であつて現に到る處に其城跡を留めて居る其の有力な證據の一つで又彼等は土着民と血を同じくすることも人類學上有力なものとなつて居る血と歷史に關係を有する鮮人の融し住むべき土地であらう

尚哈爾賓に於ては大藏滿鐵理事の意見に依つて伊藤公の記念事業を起したいと考慮されてゐる伊藤公薨じて既に十四年哈市驛に於ける最後を記念すべく鮮人の救濟事業を起したいと云ふのであるそれには彼の安重根氏の友人面長禹德淳や醫者朴致夏金鼎九の諸氏も賛成してゐるが鮮人のために斃された伊藤公の記念事業として鮮人を救濟したいといふ事も又意義あるものと認めねばならぬ云々

普通々話擴張

從來長距離電話加入以外の者は普通々話區域以外全然通話が出來ないで甚だ不便を感ぜられてゐたが遞信局でも頗る其改正を認め四月一日より區域擴張を決行すると共に一般加入者の要望に副ひるよ…

春向絹レースの編み方

▲柳の芽が色づき、櫻の蕾がふくらみ出して來ると、防寒用品としての毛糸編物から、今度は裝飾用の絹レース編物へと、編物の流行が移つて來ます。羽織をぬいで、輕やかに美しい帶姿の美を競ふ頃になると、絹レース編のショールと、編手提とが欲しくなります。
▲絹レースの手編ショールは、市價二十圓以上ですが、自分で編めば、極めて安價で、驚く程見事なものが出來ます。婦女界三月号『御慶事記念号』には、簡單で見榮えのする絹レース編のショールと、手提の編方とが、誰にでも出來るように詳しく說明してあります。
▲又細い毛糸の春向ショールや、少女用の半袖スエーターなど、季節向の毛糸編物も載つてゐます。婦女界にのみ出る山田松子夫人の編物は、今は至る所で大好評を博してゐます。それはどんな初心者にも分るように說明してあつて、しかも型が新しいからです。
▲絹レース糸には、種類がいろ〳〵ありますが、その中で糸質染色とも最優等の糸を婦女界本社及び支社代理部で、お分けしてゐます。只安いに任せお買ひになると、直ぐ切れますから、ご注意下さい。本社で扱つてゐるのは、英國コートールド會社の特製品です。見本ご入用の方は、郵券二錢封入お申込み下されば、お送り致します。

本号特價 金七十錢 送料三錢（最寄の書店で賣切の場合は本社か支社へご註文下さい）

東京驛前丸ビル三五五 婦女界社（振替東京二九三七）
大阪市堂島ビル三〇一 婦女界大阪支社（振替大阪二二四七三）

最新刊 附 司法警察官吏執務規程 犯罪即決例

改正 朝鮮刑事令 刑事訴訟法

法令條會編（ポケツト形 二百九十頁） 定價四十錢 送料四錢

京城本町 大阪屋號書店 電話本局二〇八六・六八四番 振替京城二五七二番

朝鮮總督府法務局編纂 戶籍屆出申請等書式

定價五十錢 送料四錢

最新刊 本書は、最新の戶籍屆出申請等の書式を悉く蒐錄したるものにて、代書業者は勿論一家庭にも是非必要の良書なり。

內容目次
出生屆書式 認知屆書式 養子緣組屆書式 婚姻屆書式 離婚屆書式 死亡及失踪屆書式 親權及後見屆書式 戶主相續屆書式 廢家入籍屆書式 分家及絕家屆書式 改名、族稱の變更及訂正屆書式 轉籍及就籍屆書式 戶籍訂正屆書式 其他の屆書式 閱覽、謄本、抄本及證明書請求屆書式

蒸燒器

僅か五分間でお魚類をお好み通りに焼く御勘定の出る…

京城本町二丁目 龜屋商店 電話本局二十七・四七五番

山葉オルガン新荷著

新學期御準備は今！

山葉オルガン	定價
第1號	￥45.00
第2號	￥55.00
第3號	￥80.00
第4號	￥85.00
第5號	￥120.00
第6號	￥150.00
第7號	￥180.00
第8號	￥200.00
第9號	￥300.00
第10號	￥350.00
第11號	￥750.00

於朝鮮樂器界元祖 米國ヤマハ直輸元 京城本町一丁目 セヤマ洋樂器店 電話本局2652番・振替京城10756番私書函京城局5番

滿洲財界根本救濟策
銀資金融機關の設立と上海貿易の圓滑
上海領事館副商務官　加藤日吉氏談

滿洲金融經濟狀況調査の爲め廿四日來安した上海駐在副商務官加藤日吉氏は滿洲の財界其他に就て左の如く語つた（安東縣）目下滿洲に於ける日本人の經濟狀況は日增しに支那人から壓迫驅逐されるる有樣で誠に寒心に堪へない。滿洲の事業家及商人等は膝を揃へて中央政府に低利資金の貸出を希望して居るが夫のみでは滿洲經濟界の根本救濟にはならない。思ふに滿洲經濟の獨立を期することが刻下の急務である。然らば如何にすれば經濟の獨立を期することが出來るかと申せば銀資金融機關の設立と上海との貿易を圓滑にし商人の信用を增すことにある。而して商人の信用を增す方法としては同業者間にて職能組合を設け夫れに適當の規約を拵へ嚴重に之を守らせる。若し違反者があつた場合は斷然たる處置を取ればよろしい。現在に於ける安東上海間の貿易は安東より木材、柞蠶、大豆粕等を輸出し可成りの取引が行はれて居るが遺憾なことには兩者間直接に決濟されずして大部分は日本に行はれ大連支店を介して行はれる之では直接上海に利せずして朝鮮滿洲と各國が商權擴張の爲めに競爭が猛烈だしい國であるから朝鮮滿洲と無要本な商人が一攫千金的な行爲をする間隙が無い何れも相當の資金を擁して最も堅實な營業方法を以て取引されて居る爲め他の業界の變動に對しても比較的影響も尠く滿鮮都市とは市況に於ても盛況を呈して居る云々

慶北道評改選
と迎日郡の情勢

【浦項】慶尚北道々評議會員の任期は愈三月末日であるが其改選期は三月二十日に擧行せらるゝ筈となつてゐる、慶北の定員は官選十二名民選二十五名合計卅七名であるが迎日郡は前例に依つて民選一名官選一名選出せらるゝ筈である現在本郡の道議員は浦項繁榮會長兼迎日水利組合長の中谷竹三郎氏が官選され民選には元慶北參事の徐相俊氏であるが徐氏は確かな家庭的關係で再び民選さるゝか頗る疑問である一方中谷氏は再び官選さるゝは疑ひなかるべく又徐氏としても氏の官選されん事を切に希望してゐる一方消息通の說に依ると浦項の巖島伊平氏の食指が動き野心滿々たる如く下馬評もあるが氏の人格を知る者は一笑に附して問題視せない一方龍浦の十河豐三郎氏が若し中谷氏が出馬せないで他の候補者が出現するなら蹶起を決して見たいと言ふ色氣が十分で既に某々策士をして某方面に探りを入れ暗中飛躍の模樣である鮮人の方にも二三の野心家もある模樣で期日が近づくに從つて或は意外の戰爭があるやも圖られぬと

安商特別議員決定

【安東縣】安東商業會議所會頭及副會頭、常議員七名は孰れも既報の通り一人の辭任者なく全部承諾した尤も其間荒川六平氏の當選辭退問題も起つたが次點者の岡部…した關係上又復逆戾りして同氏の就職を懇請し松原氏に去就一任と云ふ妥協成立し二十七日更に特別議員及相談役を次の如く決定した

特別議員滿鐵安東地方事務所長岩本秀雄、同鐵道事務所長佐藤俊久、安東驛長湯淺三枝雄、安東稅關長相山靖次郎、同海關稅務司由布長兩宮部、同海關副稅務司由布謙太郎、鴨江採木公司橋本秀久、安東地方委員會長藤平泰一、相談役滿鐵安東地方事務所長岩本秀雄

であると

大倉米吉、磯部體試、樋口虎三、樋口由太郎、松本市五郎、西村又三郎、引地寅次郎、佐藤政次郎、芥川元一郎外朝鮮銀行、十八銀行、朝鮮商業銀行、韓一銀行各支店長

上海航路開始
其他を吉村海事課長へ　木浦商議から意見陳情

【木浦】吉村海事課長來木を機とし木浦會議所では左の件に付いて種々意見を陳述した
一、上海航路開始の件
一、朝鮮汽船增加、運賃引下げ
一、寄港地增加の件
一、平水航路開始は許可制を採る事
一、發動機船の港內碇泊及營業場所整理の件

咸南校長會議

【咸興】咸南校長會議は二十六日午前十時より咸興郡產業陳列館階上に開催せしが諮問事項及協議事項は左の如し

一公立學校及普通學校に於ける國民精神振興に關する實際方案
二公立小學校及公立普通學校の實科教育を徹底せしめ勤勞節約の思想を涵養し其實行を確實ならしむる方案
三學用品の硏究統一を圖り之が共同購入する可否並に硏究統一及共同購入の方案

諮取事項
一學校を中心とせる社會教化に就き實施せきる事項
二來學年に於ける入學希望豫想數並に收容豫定數及其採用に關する意見（普校に限る）

咸南會社工場狀況

【咸興】咸鏡南道に會社工場は昨年末調査によれば六十一個所にして從業勞働者數男千八百四十五名女三百五十四名にして工場監督三十個所三百三名土木建築の一個所三百二十八名印刷業の十二個所九十八名等重なるものであるが年齡は十五年未滿二十一名二十年未滿二百十四名三十年未滿八百十八名四十年未滿六百九十九名五十年未滿三百四十一名六十年未滿七十五名以上十一名で內地人百三十人朝鮮人千八百十七名支那人二百七十四名にして勞働時間は八時間乃至十時間位で公休日は大約一ケ月二回である勞銀は一律に分別し難きも中年內地人二圓十錢鮮人九十五錢支那人九十錢位である勞働者の寄宿舍又は社宅の設備あるもの二十個所大祭祝日或は野遊會等開催して酒肴料を給與するもの二十個所慰藉料或は家族救濟等の施設あるもの四個所社員慰安手當金、勤續手當金或は賞與等の制定あるもの三十五ケ所ある

群山取引所紛糾
仲裁團體組織

【群山】群山取引所組織問題に付いて株式派、會員派の紛爭益々擴大し殆ど惡化の狀態となつたので國宗府尹、野上警察署長斡旋者の調停に努めたが効なく昨報の如く兩派の紛擾は益々惡化せん形勢となつた爲め兩派に無關係若くは中立を以て居た群山有志は二十六日午後四時公會堂に會合し兩派の紛爭調停を目的とする有力なる一團體を組織することを協議決定したが既に調停團體に參加することゝなつた氏名は左記の如くで尚多數有力者を網羅する計畫で府尹署長の參加を求むることは研究中

愛婦服裝制限

【仁川】愛國婦人會仁川委員部に於ては從來各種の會合の場合中流以下の婦人は殆ど出席するものがないといふ有樣でかかる現況を來したのは徒らに衣裳の競爭に流るる結果であるから今後は如何なる會合と雖も必ず綿服若くば銘仙以下に服裝を制限することに申合せたと

何れが是？非？
安州電氣紛糾問題
各方面の意見奈何

【安州】安州電氣會社紛糾の眞相を掴むべく平壤支局より二十六日午後來安したる記者は各方面を訪ひ紛糾調査する處あり、該紛糾事件に對し嚴正なる批判をなすに先立ち先づ社長派、改革派の意見と中立派並に調停者の意見を紹介して本論に入る事とする

此上は法廷で
黑白を爭ふのみ
改革派　柴田次郎平氏談

改革派の首領とも目すべき氏は語りて曰く『問題は社長兼株主の問題にして決して新聞安州の問題ではない、昨年六月第五期株主總會の際決算報告中不當支出の故を以てこれが承認を與へず散會したがこれを會社に返戾する口約のもとに承認したものを今期に於て斷行しない爲に問題となり更に取締役によつて發見された會社の內容の杜撰が世上に暴露され遂に社長の不信認となり更に訴訟となつたものでこの上は法廷に於て問題の解決を爭ふあるのみ、この結果おのづから正邪黑白は判明することゝ信ずる云々

不當の賞與金
社長彈劾の發端
改革派　岩本光五郎氏談

第五期の不當支出は問題の發端ではあつたがそれよりも第二回拂込の出來ない木谷販三氏所有株四千株を無斷で取得し社金を以て拂込み自己名義の借換へた等は不都合も甚だしく更に定款に違反して僅に七百圓計りの利益を見ないにも拘らず殆ど數十倍に當る千三百圓の賞與金を勝手に獲得したなどは明かに背任罪を構成し株主の眞の利益は僅少ではない吾人は會社將來の爲め斷然として社長及整理の斷行を敢めたい云々

野心家の慾望
から遂に鬪爭
社長　吉田豐氏談

不正事件とか紛糾とか騷動とか騷いでゐるが要は二三野心家が自己の株主にしても今期の決算が濟んだので何等問題でない。木谷販三氏の株にしても今期の決算が濟んだがあり、何れも適法に取得したもので自分の方から拂込む者へでたので直ちに處分する事が同氏に對する總てでないと思つたからである云々

電燈面營問題
當局としては考慮
安州郡廳　小林庶務主任談

電燈事業の面營は新聞紙上によると當局の諒解を得、更に株主及び面協議會の承認を得て二月廿日の面協議會で面營を決定した樣に記載してあるが右に關しては決して當局の諒解したものではない、現在の面の財政狀態では何れにしても決して其の時期でないと考へるのみならず社長も紛糾の如き問題によつて面の財政狀態を顧慮する時は當局として斯くの如き問題には未だ其の時期ではないと考へて居る

局面急轉直下
社長を背任罪として告訴す

【安州特電】安州電氣株式會社紛糾問題は局面急轉直下し遂に二十九日吉田社長を背任罪として訴へ加藤政平、藤田勝五郎、岩本光五郎、柴田次郎平、小山官之助、末成民平、李鍾觀、洪禹疇氏を始め改革派株主の連署を以て新訴を提起する事となり問題は急轉直下し正邪曲直を法廷に爭ふ事となつた果して社長勝つか改革派勝つかは最も興味ある問題として注視せらるゝが最も安州の人心を緊張せしめてゐる

平南地稅徵收成績

【平壤】平安南道に於ける大正十三年度第二期分地稅は二月末を以て納期としてゐるが二月二十五日現在の徵收成績は調定額二十二萬九千二百八十四圓に對し徵收額二十二萬九千百六十七圓にして未濟額は百十七圓で未濟郡は大同、中和の二郡であると

尙州郡廳移轉
陳情委員上道

【金泉】尙州郡廳舍の位置は尙州市內の中央にあり市街地の上に建設物であり且建物も舊式に屬し不便不利勘からずとし早くより之が移轉を市民一般熱望して居つたが昨々年度の道評議會に於て尙州選出道評議員が該問題に就て本道の諒解を得更に當時の郡守とも折衝して移轉するに決定し唯豫算の關係上本年度に遷延となつたが尙州市民は速かに豫算を控へて居る現在其移轉は一日も速かならん事を熱望し此程期成會を內議一致にて設立し代表者二十餘名を選び更に稻垣德三郎、堀內宗次郎、川崎八郎の三氏は廿一日

小問題に沒頭
するのは愚の骨頂
中立派久田商店主談

事を敢てした事はない云々

中立派として或は社長派に對して或は改革派の中立派として目せられてゐる久田商店主は語る『安州電氣の問題――さア私達はそんな問題には成可く避けたいと思つてゐる、高が二萬五千圓拂込の會社で自分達としてはそんな仲間に入りたくない何故って？自分自身の仕事の方が忙しいのでさうした問題に沒頭してゐる事を許さない何れ問題は落つくだらう』云々

面經營問題は
大多數で反對
面協議員　洪禹疇氏談

面營問題など、云つてゐるがそれは全く事實が相違してゐると改革派と目せられてゐる氏は語る『吉田社長が面營問題を通じて自分を訪問したので自分は考慮の必要のある旨を答へておいたそして面々面協議會の席上協議事項として協議すべき性質のものでないから宜しく會議終了後懇談會として提議すべき問題として懇談會で協議した結果九名の面協議員中六名反對で社長派に屬する三名のみが賛成で絶對多數で葬り去られたが郡守の仲裁も出たのでその面協議員は立て社長に一任したが要するに問題は大多數が反對である

四町時事協議

【大邱】大邱府大鳳町、三笠町、鳳山町、竪山町四町の有志は去る二十四日午後四時より大鳳町尙尾佐一氏宅に集會し現今の大邱驛問題及び大邱府政問題に關し意見の交換及び決議をなした

慶北蠶業書記會議

慶北道に於ては郡內各郡蠶業書記を召集して三月一日蠶業苗の植栽其他蠶種の掃立其他に關する打合せ會を開催する筈にて付道より技術官の出張方を依賴した（大邱）

柞蠶試驗所
設立場所決定
平北義州郡水鎭面に

【新義州】柞蠶試驗所設立に關し實地調査の爲め管內義州郡水鎭面に出張し平北道農務課長野田實氏は二十五日歸任したが氏の談に依れば柞蠶試驗所新設は豫算會議の通過を以て可決確定したので同地に至り實地調査の結果で今は知事の決裁を受け次第着手する運びに至つた因に同地は平北道中最大の柞蠶林の所有者で同地に試驗所を設置しその施設如何に依つては國に好適地を提供すると迄云はれてゐる

淸州高普開校
京城高普分校として

【淸州】淸州に設置さるべき高等普通學校は既報の如く四月一日より開校に決し之が準備の爲め二十六日京城師範學校教諭江原六郎氏の著任を見るに至つた生徒募集に就ては各郡宣傳ビラ其他の方法を以て通知し入學願書締切期日は三月十日限りで十二日十三日に資格試驗を行ひ之が合格者及普校六年卒業者中より選拔試驗を十四日に行ひ十五日に口頭試問及身體檢査を行なし初學年五十名を收容する豫定であるが尤も當初の豫定では官立高普校として二學級百名を募集する筈であつたが道會解散の影響を蒙り獨立して經營なし難き事情ある爲め京城高普校の分校として取敢ず開校し來年度より當初の計畫を遂行するとの事である學校敷地に就ては四ケ所の候補地中何れを選擇するや不明なれども以て豫定地にあるらしいが北部望京臺に於ける候補地を以て最も適當だと云ふ說も有力である

東拓木浦支店は
小作年限を撤廢す
小作爭議等に鑑みて

【木浦】全南地方の小作年限は一般に普通一年とされ東拓木浦支店では三年と定めてあつたが小作年限を定めると小作人が其土地に對する愛着心が稀薄であり爲め必から改良などを行はないと云ふ弊害がある且つ最近に於ける頻々の小作爭議が主として小作權に關する事が多いと云ふ事に鑑み東拓木浦支店では本年度からこの小作年限を全然廢止し不良の行爲がない限り殆ど永久的のものとする事に決定したと

平北外人狀況

【新義州】平北道在留外國人の狀況を聞くに昨年十二月末に於ける合計八千三百六十七人內支那人の八千二百十人を筆頭に英國人の九十二人米國人七名佛國人六人瑞典人五人獨國人の各十八人露國人の各一名であるが此外一時滯在者の外國人の出入を聞くに入國者數七千八百人內支那人六千九百八十人外國人二百八十三名佛國人十四人英國人七名米國人七名獨國人一名で何れも支那人が第一位を占めてゐる

大豆粒選督勵
咸鏡

【咸興】咸鏡南道にては大正十一年より北は十二年より徹底的に實行の粒選を咸興以南は大正十一年よりし其爲め本道産大豆の聲價は一新し內地にも相當認められて需要を喚起して居るが尙改良の餘地少からざるを以て今回其粒選勵行を普及せしむべく粒選勵行郡を指定して咸興外十一郡として輸出品種を安邊、オイヤルコン、白太、ムルコン、リカンカン、織川淺漆及オリキバルの七種とし土地の關係及氣候等の關係上不可能の所は特定地域を

安東縣新市場建設

【安東縣】安東支那側市場は現在の處狹隘な狀態で極めて不便の點多々あるので來る陽三月一日より同側市街（永上區第七區）に新市場を建設に着手し七月までに竣成せしむる豫定であると

守備隊の遠乘行軍

【安東縣】滿洲守備隊第四大隊では來る三月六、七、八の三日に亘り安奉沿線鳳凰城を基點として將校以下三十八名騎兵、大孤山大東溝方面に遠乘行軍を行ふと

圖書館新設請願

安東地方事務所管轄下安奉沿線の鳳凰城地方區に於ては同地區長、小

雪の元山（四）
鬼十生

三　支店長

鮮銀の元山支店長古田正三郎君は元山金融界の元老である、次席の支店長の地位に就た今日でも君の時代に於て君の辭職の手腕と敏腕は世に一頭角を現してゐた、性格は既に一頭角を現してゐた所は非難する向きもあるが金融業者として餘りに得手勝手であり同情が無さ過ぎると云ふ者がある、併し古田君が龍倉支店長を辭した元山金融界に何うやら斯うやら新しい經路を作つて鮮人の固定貸を整理し今日の君の遣り口を非難する方が却て得手勝手かも知れない、私は別に古田君に提灯持ちを職とするものでは無いが公平無私の立場に立つて過去から現在に思ひを致らすると、元山の金融界が破綻した時代の危期を脫して來た事は確かに他地に比して極めて整理の程度に內容が著しく良好になつたのは君の努力の結晶（其據部分にもせよ）であると云つてよいと思ふ、この邊り認める所は貸めて貸くが、君の口の惡い事は有名なものである、世の中には色々な人もあるが古田君の惡い所は何か云ふ方かと云へばこの惡い事には何うしても惡いことを云ひ人に誤解を招く事がある古田君の口惡は決して惡意からのもので無い、極めて露骨な所があるので惡い方だからよく交際して見ると面白い男であるが何うも取り付き難い所がある。鮮銀幹部職では受けは惡い方ではないやうだ、東鮮銀支店長の佐藤作造君は曾て遣り口を非難した事もあるが…

平南畜牛肺疫猖獗
定期牛市場の停止を命じ全力を擧げて撲滅に努む

【平壤】平安南道に於ては本年に入つて牛肺疫の發生を見二月中には特別牛肺疫家畜の豫防撲滅に努め警察部と共に極力其豫防に努力しつゝあつたが二月廿五日に遂に平壤一大同郡七安州郡、价川郡二江東郡一〇孟山郡四平原郡一計六十八頭と云ふ多數牛疫の發生を見益々猖獗の兆あり此程各地方の牛市場を停止すると同時に一方蔓延地なる孟山郡、陽德郡及价川郡、順川郡三郡には定期牛市場の停止を命じ全力を注いで肺疫の撲滅に努力してゐる

地方改良講習會

江原道に於ては第三回地方改良講習會を二月中旬に開催し好成績を得たので更に春川に關東六郡の面職員評議員及一般地方有志を招集して三月一日より五日間江原に開會する由講習員百餘名の見込講師及講習科目左の如し

經濟の發達と副業　川崎勸業課長
地方改良の要項　大塚文書課長
養業一班　地頭園技手
農事獎勵方針　武田技手
社會事業に就て　山名本府屬
面行政事務に就て　吉田本府屬
農村振興の實例　金教化主事
右の外本府より高橋事務官來援講話の筈である（春川）

果樹苗木購入

慶尙北道の果樹苗木購入は各郡島農會の希望により苹果苗三千四百本、梨苗五千二百本、桃苗二千本、葡萄苗四百本、栗二千五百本を購入する計畫中であるが內地から購入する時は害蟲に侵されたるものもあるから成るべく鮮內にて優良の苗木を購入する豫定であると（大邱）

面書記選拔試驗

大田郡に於ては面書記選拔試驗を來る二十八日午前十時より候補者選拔試驗を執行したが受驗者十五名の多數に達したので常識、漢文、地理、口頭試驗を行つた（大田）

土地登記宣傳終了

【旅順】三月一日より施行の關東州土地登記制度の宣傳は先般來關東廳の手に依り民政署では係員數名を管內各會に出張せしめて居たが此程全部終了した

煙草定期輸送

仁川煙草元賣捌組合では仁川沖合の北島、靈興、大阜、德積各島に於ける煙草の需給調節を圖る爲め此程發動機船一隻を購入し三月一日から前記各島に定期輸送を開始すると（仁川）

小學校補助

慶尙北道管下左記五小學校は生徒數減少にして經營困難なるを以て日用器具設備費として各金百圓を補助する旨二月二十日本府學務局より通知があつた（大邱）英陽郡英陽公立尋常小學校△盈德郡盈德公立尋常小學校△永川郡新寧公立尋常小學校△金泉郡知禮公立尋常小學校△鬱陵島南陽公立尋常小學校

永興學校送り

慶北高靈郡高靈面白樂鎬、尙州郡尙州面申鉉錫の兩名は今回永興學校に入學する事となつたので大邱署の巡査草場政喜氏が私服で二十八日午前十一時四十八分發の列車で元山まで護送した（大邱）

全南刑事講習會

全羅南道警察部にては道內各署の刑事巡査を召集して三月一日より二週間巡査教習所に於て刑事講習を行ふ筈にて講習生は二十五名講習科目は左の如し（光州）
犯罪搜査法　指紋法、法醫學
刑法　刑事訴訟法、寫眞術
劍道　柔道及び科外講話

地方事務打合

滿鐵本社に於ては三月一日より三日に至る三日間滿鐵沿線各地方事務所長の事務打合せ協議會を開催すると（安東）

本町校の敬老會

大邱本町公立尋常小學校にては來る三月一日午前十一時から午後三時迄の間に於て敬老會を開く相である（大邱）

果物組合役員會

慶北果物組合役員會を來る三月一日午前十時から上町在鄉軍人會分會集會所に於て開催大正十三年度歲入出豫算及び組合費徵收方法の件を附議する筈であると（大邱）

滿洲神職會開催

滿洲神職會第五回臨時總會は三月五六の兩日撫順神社社務所會議室に於て開催し十三年度事業計畫並に今年度收支豫算の件を附議する筈である因に會員は現在十六名で本年の主なるものは民間に於ける宗教思想に關する講演會開催等である（旅順）

井口會月並碁會

【新義州】井口會の月並碁會は二十四日正午から眞砂町西本願寺布敎所で開催參集者三十餘名で午後十一時過ぎ終了入賞者左の如し
▲一等垣見▲二等疋田▲三等關西▲四等元吉▲五等堤

地方人事

▲吉村海事課長　二十六日來木視察の上夜は官民有志歡迎會に臨み二十七日朝發海路麗水へ（木浦）
▲越智遞信局技師　二十六日來邱各學校にて講演（大邱）
▲成田新郎氏（滿洲遞信局長）事務視察の爲廿七日來邱（大邱）
▲長野直彥氏（京日編輯局長）二十六日來邱花屋旅館投宿（大邱）
▲張稷相氏（慶一銀行專務）二十六日夜行列車にて出城（大邱）
▲瀨英森氏（長白府知事）英森氏奉天よりの歸途家族四名同伴二十六日午後八時平壤著列車にて入咸日の出旅館に投宿翌日各關係官廳を訪問し二十八日朝自動車にて惠山鎭へ（咸興）
▲三井本府農務課技師　廿六日來江、野田郡守、坂上面長等の案內にて市中を視察（江景）
▲德永吉三氏（朝鮮土木技師大邱府在勤）二十七日著任（大邱）
▲西澤鐵徹氏（安東領事）二十七日奉天へ（安東縣）
▲內藤碩介氏（採木公司理事長）東上中の處廿八日歸安（同上）
▲星園澱氏（慶北學務課長）金泉出張中の處廿八日歸任（大邱）
▲古市橋之助氏（同道視學）同上（大邱）

災後の戀　七十五回
上司小劍　作
伊東深水　畫

大衝突（廿一）

『うぬ等、ほんとに、ひでえことをしやがつて』と、其男はいよ〳〵踏り狂はうとしたけれど、五人の若者が押さへ付けて動かさなかつた。

『さア、殺せ、殺しやがれッ』と、其男は自棄になつた。

『どこからどこへ行くと聞ふてるのに、何故答へないんだ』と、在鄉軍人らしい若者が、確かな口調で言つた。

『どこへ行かうと、おい等の勝手だ。足の向いた方へ行くんだ』と、其男はもがきながら言つた。

『亂暴な奴だ。この夜更けに、人の家の軒先でマッチなんか摺りやがつて……きッとこれは放火をするつもりだッたに違ひない。交番へ連れて行くか、憲兵に引渡すか、どちらかに仕やうぢやないか』と、自警團の一人は言つた。

『なに、それも面倒だ。締めつちまふぢやないか』と、獰猛な顏をした一人は、嚇れか威かしか、何かは知らず、兩手で首を締める眞似をした。それをチラと見た其男は、急に顏の色が變つて、

『人殺し……』と、悲鳴を揚げ、深夜の靜寂を破つて、其聲が遠くへまで響いた。

『何を言やがる』と言ひさま、一人の自警團員が手拭で其男の口を押さへたので、男はいよ〳〵首を締められることゝ思つたらしく、最初の勢ひに似ず、ガタ〳〵慄へ出して『言ひます、言ひます。あツしや決して怪しいものぢやありません。京城大和町のもので、お店の使ひに來たんです』と泣き聲を出した。

『お店の使ひにどこへ來た？』と、手拭で口を押さへかけた若者が詰問した。

『そこの星野さんへ』

『星野言へ、この野郎、口から出まかせを言やがつて。星野さんはこゝに居るぢやないか。こいついよ〳〵怪しいぞ』と、若者は拳を固めて一つ、其男の頭を擲り付けた。

『あゝ痛え。ひでえことを……』と言つて力みかけたけれど、もう反抗する勇氣のなくなつた其男は『御免なさい、御免なさい』と叫んで、きよろ〳〵見廻したが人の顏の中に、光多の居たのに驚きつゝ『あゝ、星野の若旦那、どうぞあツしの明しを立てとくんなさい。まんざら知らない顏でもねえんだから』と、いまづら〳〵しいことを言つた。

『星野さんは、こいつを知つてるんですか』と、自警團員の一人は不思議さうにして、光多に訊いた。

『知つてる……』といふわけでもないんですが、時々夜中に口笛を吹つかけて、はり飛ばすぞなぞと言つた奴です』と、光多は其男の顏を睨み付けつゝ言つた。

『太い奴だ。あべこべに張り飛ばしッちまへ』と、一番強さうな若者が、棒を持つて、其男の前へ突ッ立ち、土間へドンドンと棒の先きで音をさせた。其男はいよ〳〵慄へ上つて、

『御免なさい、御免なさい』と大聲で叫んだ。そこへコツ〳〵と靴音を立てゝ、臨時憲兵の步兵が二人、銃劍を閃めかしてやつて來た。

『說教、どうしたんですか』

時々夜中にやツて來ては、お汁粉やおでんの御馳走になるので、憲兵は自警團員の友人のやうであつた。私に人を拘禁しても大目に見遁す上に、加勢の言葉を發するほどであつた。

『こいつが放火をやりかけたんです』と、自警團員は言つた。

『放火？』と、憲兵の眼は、鋭敏とゝもに異樣に光つた。

『飛んでもねえ、飛んでもねえ』と、捕へられた男はあわて出した。

京日文苑　投稿募集

短歌　題『阪』　尾上柴舟選
俳句　題『杏の花』　內藤鳴雪選
川柳　題『披』　井上劍花坊選
締切　三月十日（各題共）

讀者から

二十日午後十一時五十分發龍山より東大門行電車の乘客が驛前通りに來ると下車する驛に五六人の乘客の方があるから乘んで京城驛停留場へ來た時此處の驛は都合にも客の電車を發車させた一分間も待てば五六人の乘客を拾ひのに次の電車まで待たせぬでもよい譯だ、こんな事は此處で時々ある（電車生）▲皆さまの御家庭で洗濯仕立物をさせて下さる方がございますなら御一報次第參上し親切叮嚀にいたします薬より報酬はのぞみません（平洞閑女）▲貴紙の讀者文藝は何日に發表されるのですか（朴宜鳴）△紙面の都合を見て發表するので現在では不定期です（係）▲明治町附近で三味線端唄を教へて下さる方なきや（病院內ナガタ）△お尋ねの本社新館內にありますX光線療法の事は物理療法係（光化門四百五番地內二十四番）へお尋ね下さい（係）▲當方官吏ですが御子樣方の敎養の御相手を勞と生として置いて下さる家はありませんか（明治町二丁目東醫方永田學）▲生活難の際かまびすしい世の中に未だあの下駄はいて體操を教へてゐる普通學校の女敎師サン、改めて頂ひ度い（一父兄）▲龍山鐵道生へ御希望のマンドリン一緒に練習してもよいと思ひます（醫學生）▲漢江通り三の十六金丸の御方は其劇行所名を御知らせ下さいませ（朱生）▲旭町二丁目に居られた佐藤玉浦樣の現住所は（山田）▲本町○○遊廓の駆さん見苦しい姿で町を歩くのは止してくださいよ（見かねてゐる娘）▲狂戰狂殺へ一度御來訪あれ（孫會洞一七七專修學院內莇地）

鼎坐吟
『霞島』碧梧の後
……二十五日實柿居にて……

淡雪の松の雫となりにけり　久波
春の雪櫓の中に消え込みし　同
魚放つ泉水暗へぬ春の雪　三生
湯上りの跣足に消ゆ春の雪　同
倒れゐし箒の埋や春の雪　實柿
戶をせゝ鳴きやむ雀春の雪　同

南柯支社句會

南柯吟社京城支社三月例會は來る三月二日（日曜）午後七時から本町一丁目三越裏通り『不老閣』で開催する兼題は『春の雨』『蜆』『雲雀』通題三吐武田鶯塘氏特選。席題は當日發表高點者に記念品を贈る。會費五十錢一般俳人の出席を歡迎する由

賞金　天一圓半、地一圓、人半圓
注意　一題一人三句、各題別紙用紙現用、雅號住所明記、京城日報社『京日文苑』宛の事
其他　各地會報歡迎

それが人情だ（民謠）
仲之允

それが
人間といふものさ
おはる
月夜に泣いてたが
すかして
なだめてつれられて
なみだが
とまつて泣きやんで
いとし
戀しい殿方と
思ひ
つめたよ魂も
それが
人情といふものさ

公娼廢止とその善後策（二）

副島外務卿の英斷

救世軍大佐　山室軍平

第一公娼制度は人道上許容すべき事ではない。これに就て面白い問題がある。明治五年六月ペリウの汽船マリヤルス號が二百三十人の支那人奴隷を乗せて横濱に碇泊中の出來事である。支那人奴隷の一人がその虐使に堪え切れないで海中に飛び込み折柄碇泊中の英國軍艦に辿りつき艦長に向つて『ペリウにつれて行かれるのだと思つてゐたのに奴隷に賣られてゐた』と窮情を訴へた。事は横濱での出來事である。時の外務卿は副島種臣伯である明治維新の際とて當路には敏活無比の人々が澤山ゐる。マリヤルスの所爲は國際公法の禁を犯すものなりと言ふ人道的義憤から此憐れむべき奴隷の解放を宣言した。そして國際裁判に持出した。この時裁判の任に當つたのが露國のニコラス皇帝である。

當時の事情に詳しい大江卓氏から聞くとペリウ側の放言して言ふのに『支那人の奴隷を百人やそこら積んでゐるの名目口角立て、彼此れ仰有るが、御國のあの吉原の娼妓とやらは奴隷ではござらぬか、船でちよいと立寄つた丈けの奴隷を云爲する資格があるか』と言つた時この答へに窮したと言ふことである。

娼妓の解放令

左樣な事があつてから當路でも娼妓の必要を認め明治五年十月の太政官令で『娼妓の賣買を禁し是を使役するとは嚴禁たるべき事、右に付ての借訴訟は取上げざる事とす』と云ふ布令が出て娼妓は解放された、豫期しない意外の時に自由を與へられたが大勢に先立つてゐて未だ娼妓が解放後如何に自らを處理するか充分に考慮してゐなかつた事とて彼等は三四年もすると又元の古巣へ舞戻つた、然し當時の人身賣買の出來ない事は判つてゐた、で今度は借金の抵當に取るのだと言つて身代金と言つてゐたのを揚代金、前借償還と言ふ樣になつた、即ち貸座敷に娼妓が下宿してゐて出稼をすると言ふ樣なことになつたこれでは言葉の改良が出來た丈けである。

京畿道の制度

明治二十二三年頃も同じ樣な狀態である、貸座敷業者に言はすと娼妓が勝手に前借して稼いで前借金を償還してゐるのだと言ふがさうは行かぬ前借金と言ふけれどもこの中には手數料、衣裝代、その他で大半は消えて行く、やつてる中に借は多くなる減るのが道理であるが多くは減らぬ。

この前借金に就ては相當苦慮して京畿道では制度は認めてゐるがある、即ち年期は五年を超えてはならぬとか或は前借金には利子を附してはならぬとか種々前借金の增さない樣にとの努力はしてゐる然し何ら可憐な婦人の悲慘なる犧牲によつて擧げられる利得の上前をはねやらうとする抱主と抱へられた婦人との間に人身賣買の事實が附纏ふて居る事を否む譯には行かぬ。

日に五厘返済

娼妓に不合理な一つの事實がある七八年前京城救世軍で娼妓七十名に就て貸借關係を調査して見たことがある、一番餘計に借つてゐるものが八百五十圓、最低百圓で總局八百五十圓乃至百圓で卑い婦人の節操が蹂躙せられてゐるのである七十人の前借總計は二萬三千六百餘圓で一人當三百三十七圓七十四錢である、皆濟するまでに平均二箇年八箇月を勤めてゐる、三百三十七圓七十四錢を借りて二年八ケ月を勤めた娼妓の七十人の前借の殘額が僅に三百二十八圓二十五錢これを一人當りにすると一ケ年に四圓六十錢、一ケ月に五十七錢一日の儲高は僅く勿れ僅に一錢九毛である、健康の續く限りやらすが彼等抱主側の策である、右の數字で三百三十七圓七十四錢を皆濟するまでには百八十六年十ケ月勤めねばならぬ

召使ひや子供達に貯金の習慣をつけてやりなさい（二）

或は家庭によつては、子供に一ケ月分の御小遣ひをきめてやるやうな風にする所もありましやうが、こんな場合にも、夫を出來るだけ

儉約し て使ふやうによく申聞かせておきましてその中から、たとへ幾程でも節約しましたらばそれを倍額にしてその子供の貯金にしてやるなども、子供に貯金の趣味を養はせる有効な方法でありましやうその外、子供の持物使用品なぞで、例へば一ケ月で使ひきる程度のものを一ケ月半に節約して使つたやうな時にはその

半ケ月 分に相當するだけの金額を二倍にして貯金してやるとか、又品物などを求める場合に內容が同じで裝飾などの點に値の違ふやうな時に實質的の安いもので我慢するなど云ふことがあつたらば、その心掛をほめてやつてやはりその差額を二倍にして貯金してやるやうにします然しかう云ふ場合にも親から强制的にやることは成るべく避けて、小供の

自由の 判斷に任せるやうにすることを心掛けねばなりませんかやうにして子供の貯金額がだん〳〵殖えたらば、それを債券に替るとか或は確實な株券を買ふとかして、子供が引出したがることを豫防すると共に、自然に利殖の道理なども教へて行くやうにいたしますれは二三の例をあげたにすぎませんが、かう云ふやうにして子供を

導いて 行きましたらおのづから物を大切にし、無駄なことに金を消費せずに、これを貯蓄すると云ふ習慣がつけられ、おひ〳〵と利殖の觀念を生させる等いろ〳〵よい效果があげられることゝ考へます。次に一家の主婦としては、召使ひのものによく注意して貯金の趣味と習慣とを養はせるやうに心かけてやりたいものです

召使な どは體面上の入り用の服裝や裝飾などをまねたがるものでありますからそれ等にはよものを選はしてそれで間に合せるやうにいたしますかうすると物を

大切に と云ふ觀念が自然に出來ると共にそれだけ餘計に餘裕も生じる譯でありますからそれを貯蓄させるやうに致します。いかなる場合にも召使などに對しては常に慈愛と同情とを以て使ふことが最も大切でありますが殊に何か良いことをした場合は必ず何か賞與を與へてこれを

獎勵す ると共にそれを好く貯蓄してやるなどは最もよい方法であらうと存じます例へばどんな家庭でも不時の用がよくあるもので來客のために大變忙しい思ひをさせたとか或は大掃除や何かで非常に働かせたとか云ふやうな時にはその時々に幾分でも心付をしてそれを貯蓄させるやうにします尚その外召使を使ふに必用なとは

主人の ものを自分のものと思つてこれを大切にすると云ふ考へを抱かせるやうに訓練することです。そのためには、例へば燃料などにしても、一ケ月の消費料は大抵きまつたものですから、豫定高よりも節約した時にはその節約した量だけは召使ひの功績としてこれを與へてやるやうにします。それから不用品などは召使の收得にしてやりますと、自然に

無駄に 捨てゝしまつたりしないやうになり、物を大切にする習慣が養はれて行くと存じます、かやうにして、一家揃つて無駄のない生活をするやうになれば、例へ貯金の高はさうあがらなくとも、經濟の上で生活費が緊縮されて行きますから、自然家計の上にも餘裕が生ずる譯であり、その上物の消費に對する精神上の訓練は總々の將來にとつて非常に貴重なる效果をもたらすことでありましやう（完）

酒豪列傳（十九）

多田作

田中監察官

醉えば平穩にして理窟も云ふ ——チト長過ぎる顔の——

監察官室に入つて行つた時人々は二本の煙突を感ずるであらう。然し諸君よその時は謬親と云ふことを忘れてはならぬ。一本はストーブの煙突だ、今一本の煙突と見えしは……監察官のお顔であることだ。此處に氣付かぬものは色盲だ。黒を認めることに缺げた…。本題に觸つて——監察官の酒は、別に取立てゝ云ふことも無い又氏自身も極力酒豪でないことを主張される。然し酒豪で無い酒豪!!それは何？田中さんは確かみ屋だ、安來節の一つも怒鳴つてみる甲斐性はとても無い、一番樂で似合ふのは理窟を云ふことだ。それも醉つて來て、眼鏡屋の店頭の樣な手振で眼鏡を拭き拭きの理窟に趣味を持つて居られる。趣味と云えば田中さんは鐵砲打ちに長じて居られる、それが狩獵の域に入つてゐるか單に鐵砲打ちであるかは知らぬが相當認められてゐる、ゴルフもやるがね？だ。さうして物事を說明する能力に富んで居られると云ふ。又最近總督府醫務衛生の御使として大田に行かれた時、口の惡い奴が居たものだ『あれはタラカ』と云つたさうだ、失敬な。

濃化粧の仕方

生際と耳の化粧

いれずみは眉毛の恰好によつて使ひ方が選ひます。濃い一の字眉毛にはチックのいれずみを使ひ、平に薄い眉毛にはコルクの焼いたのをつけます。たゞしコルクは焼いておいたのではいけません。使ふ時にマッチで火をつけてすぐに消して使ひます生際もやはりこの通りに致します。チックやコルクを使つた上に粉白粉をつけメリンスの布で輕くふきとりますと、側で見てもわからない樣になります。眉毛のないところを足すには軟かい鉛筆を細く削つてかきます耳は洗ひ方も化粧もとかく忽になりますが顔が白いのに鉛の下から黒い耳が出てゐるのは醜いものです。西洋人は耳飾りをつけるくらゐに大切にいたします。耳は綺麗に洗つてお化粧の時に白粉をつけた手で耳の裏表から孔の內までなで、頬紅を拇指と食指にて挟んで耳朶に薄くつけますと襟の化粧が引立ちます。東鬢の方は特に耳の御注意が必要です。近頃は濃化粧が流行しますがお顔や襟に無駄毛がはえてゐますと黒ずんで見えますから少なくとも一ケ月に二度くらゐ本職の人にお剃らせになると宜しうございます藝妓の化粧が巧に見えるのは剃刀をまめに使ふので白粉が毛根によく入る爲でございます

耀ふ春

卒業を前に

巣立ちゆく少女の感想（一） ——平壤高等女學校より——

平壤高等女學校の學業を終へて近く巣立ちゆく少女三十餘名あり。『卒業を前に』の感想を求めて左の五篇を得、校門の春うらゝかにして、喜々として戲るゝ少女の瞳には希望の光かがやか也（平壤支局）

卒業を前に

第四學年　鴨川瀬生

『前途遼遠』とばかり思つて居た卒業は忽焉として眼前に迫つてまゐりました。白駒の隙を過ぎる事は出よりも早しとは言へ餘りにあへなく終つた過去。あわたゞしく去つた四年。今更ながらに顧みますれば此の胸には種々様々の感情が渦まくのでございます。思へば恩愛深き師の君の厚きみなさけにはぐゝまれた月日こそ私共が生涯忘れる事の出來ない實に貴い得難い時でございました。今私共は此樂しい時に向つて最後の別れを告げねばならなくなつたのです。嗚呼！卒業と言ふ事實が一刻一刻と近づいてまゐります。西東もわきまへぬ身に美德の眞玉知識の鏡の光を添へ給ひし師の君を後に殘して此の庭を去つて行かねばなりません。野山の旅路にも同生の遊びにも袂をつらね。雪に雪に身を委ねて共に學びの道にいそしみつゝ多の月日を同じ心に輝かし友も見捨てゝ進まねばならないのです嗚呼！嬉しいと言はれませうか？嬉しいと申されませうか？……併し……『歎く勿れ悲しむ勿れ前途に光明を求めよ』と私は此の壁を開きつけました刹那に強い強い私となるのでございました。それはやはり恩師の心の叫びでございました。それはやはり私の心の叫びでございました。私は感謝せねばなりません。いざ今より後の行く途は、浪風荒き和田の原けはしき山のつゞら折なりとも絶えず心の駒に鞭うちつゝ此の世の海を一筋にみ欲のまゝに進みませう。嗚呼！今學び舍の窓より送られる私共は實に幸ある者でございます

卒業を前に

第四學年　赤城トミ子

卒業!!それは人間の頭にどう響くだらうか、恐らくそれは色々の渦巻となつて響くだらう、だが私は自分としてこれ位恐ろしいものはないのだ、卒業!!又叫んで見た、何とかやかやかしい言葉だらうかよやかしいだけに意味があるのだ意味がある故に恐しいのだその意味深いものを私は目の前においてゐるのだ、しかし恐ろしいからと云つて恐れてはならない、まだ〳〵行手遥かな前途の門出に當つて恐しいとは何だ、そんな弱い氣で何が出來る、これから自分の四年間朝夕學んだ事を實際行つて益々修養を積んで行かねばならないのだ、幾多世の荒浪に洗はれて血あり涙あるほんとうの人間らしい人間になりたいのだ

世の浪にもまれ〳〵て人らしき人とならばとおもふ今もあり

四つ年を夢とすごして今我はかなはぬ事を思ひ出すなり

納豆の作り方

……◇……

納豆は江戸ッ兒にとつて無くてはならぬ嗜好物の一つになつて居ることの納豆は今日我醫學の研究によつて益々其の效のあることゝ胃に入つてからの消化の働きが偉大なものでありあらゆる黴菌を死滅せしめる效力のある事が明かになり一般家庭にても既に承知のはずであるが

◇見たところあまり綺麗でなく臭も燒きもせず食膳に上すので、どんな不潔な所で釀造したのか判らぬと云ふ潔癖家から、一度食つてマズかつたとて食はぬ人もあるが、納豆は榮養の有する納豆菌の作用で出來るもので別に不潔なものでもなく、又少し我慢して食ひなれると、何とも云へぬ風味があつて朝の食膳には是非共欲しくなるものである

◇納豆の作り方は至つて簡單で家庭でも容易く出來る先づ大豆を味噌豆を煮るやうに軟かくなるまで水煮にして笊に上げて水氣を切り、その冷めない內に藁苞とか藁包子の穿孔の中に豆を五六分の厚さに敷いた上へ入れて適宜（大豆二三粒に）盛げ、更にその上から一面に藁が兜うて蓋をなし、冬季ならばタドンを入れた行火の上に載せて蒲團にくるみ、その何れの場合も二十時間位經てば、結構な納豆が出來る——とはある納豆通の談片である

汗愛

人生幸福の源泉

土井生

朝に希望を以て起ち夕に感謝を以て眠る

年頭希望を以て迎へ歳末感謝を以て送る

常年洋々希望に生き老境滔々感謝に住む

人生の改築

いくら繰り返した應でも間違つた道であつたら遠慮なく引返して出直すより他に途はない。

◇今迄の自己の建設が間違つて居ると氣が付いたら些の躊躇もせず宜しく人生の改築に取掛からねばならぬ

◇然るに人間が實際に於て、さう論理通り出來ないのは其時までに自分の背景なるものが出來て居て容易に夫れから離れられない爲めである

◇こゝを佛では『大死一番絶後に蘇』と言ひ、基督は『人若し新に生れずんば神の國に入る事能はず』と云つた。

◇お互に不用な物を持ち過ぎてはならぬ、不用なものを持ち過ぎるから入用なものが何時も手に入らぬ、破壞すべし、建設すべし、と言ふ氣分で奮起しませう!!

我等の念願

少くとも人樣に御迷惑を掛けぬ樣、少しでも人樣の御爲めになる樣、之れが我等日夜の念願であります

奮闘

後藤靜香

奮闘なるかな、奮闘なるかな、奮闘を離れて休養なく娛樂なし、命がけの奮闘、血の汗が滴る全身全靈の緊張、其の間に感ずる得もいはれぬ奮闘の妙味。片々たる、遥々たる小艱難は語るに足らず、障礙を離れて向上なく安穩なし、起つも倒るるも生くるも死するも奮闘又奮闘、人間の特權なるかな

大田案內

大田春日町二丁目　技術本位　北村寫眞館　館主　北村一眞　長電話三一八番

京釜線大田春日町一　歐米雜貨　手袋　節物　全部品揃　丸友洋品店　電話一四九番

大田春日町二丁目　銘酒　朝の花　ますや酒店　長電話一六七番

大田春日町一　和洋料理　仕出　御料理　富士家　長電話五七番

諸化學工業用藥品　醫療器械器具衛生材料　ペイント及各種染料　東亞藥房　長電話二五番　振替京城一〇三三番　大田春日町一丁目

大田驛前　時計眼鏡寶石　不入指環製身具製作　鹽崎時計店　長電話二〇〇番　振替京城五〇九番　日本寶石商會特約店

京釜線大田本町　久納洋服店　長電話一二〇番

忠南大田春日町　專門　塚鐵工所　長電話一一六番　淺野セメント株式會社特約店

忠南大田春日町　釀造元　森繁釀造場　長電話二一四番

大田名物　忠南　リンゴフラスカ　朝鮮大田　中田堂　電話一七九番

大田春日町　瀧川銃砲店　大田支店　長電話二二五番　振替京城一七九二番　ラージ、ケント自轉車特約店

一般診療に應ず　大田鐵道病院　電話　局內　內科十四番　外科十一番　公衆　長四十九番

教育用圖書掛圖　物理化學用器械　模型標本　運動遊戲用器具　映畫器械　其他各種教材品　生徒用品　幻燈器械　學校教官用　斯文堂教育品店　朝鮮京釜線大田　振替京城三六五七番　電話長三四九番

恩賜のスープを少量攝取
松方公昨日正午の容態

興津に差遣された西川侍醫は二十八日正午過ぎ松方公を診察したが其容態は左の如くであつたと同侍醫から宮內省へ報告があつた

體溫　三八、三　脈搏　七四、乃至七六　呼吸　三二

又陛下の御思召を啣へる爲に差遣された德川侍從長は御下賜のスープを持つて松方公に恩賜のスープであると傳へた處松方公には辛ふじて通じたらしく首肯した樣に見受けられた又其少量を攝取したさうである（東京電報）

全身不隨

二十八日午後二時宮內省着電＝松方公の容態は午後一時全身不隨となり死期刻々と迫りつゝあり

御見舞品下賜

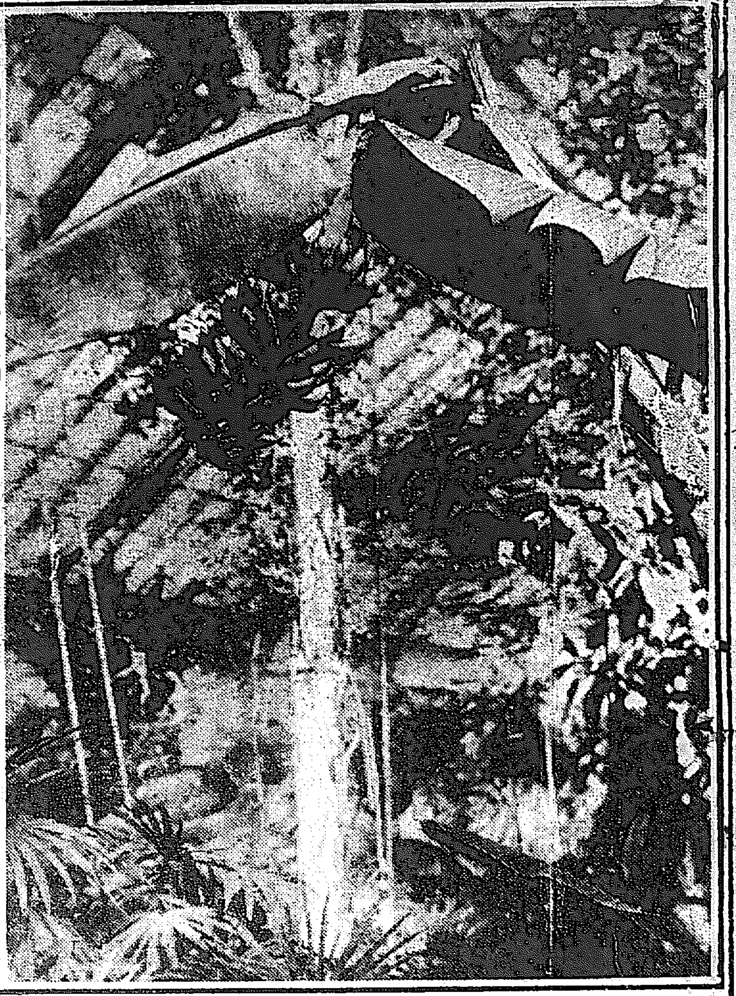
松方公爵病臥の趣き聞召され廿八日兩陛下より御見舞として御菓子一折下賜せられた（東京電報）

松方公は何事にも熱心な研究家
て製鐵事業の創始者
齋藤總督語る

松方公爵は御病中だと聞いて居たが自分の處に出入して居る醫者が同公邸にも出入して居るのでその容態に聞いて見ると老公は特に丈夫な方であるから大丈夫だとの事であつたし又御病體を煩はすものと思ひ遠慮申して御見舞もなさなかつた、公が明治三十一年山縣內閣時代大藏大臣、自分は海軍次官として合閣に列した以外同公と一緒になつた事はない、政務に非常に熱心な方で自分は十七年米國公使館附武官として五ヶ年間駐在二十一年歸朝したがその翌年も多分公は藏相であつたと記憶するが自分が雜さに關して御逢ひした時我國の製鐵の必要なる事を滔々として說かれどうしても海軍で使用する大砲許りでも日本の製鐵でこれを鑄造しなければならぬと云ふ意見を持つて居られ外國の製鐵に關する色々な事を聞かれた事もあつた明治二十三年に至り愈々其製鐵化して海軍省より製鐵所設立問題を議會に提出したがその當時は未だ必要を認められず下院に於て否決の悲運に遭遇したがその翌年二十四年に至り時の政府として設置の要を認め今度は農商務省から議會に提出し兩院共通過し今の八幡製鐵所の創設を見たのである、公は實に其の創始者で熱心に力說せられたものであつた、二十七年戰役の始めには八幡製鐵所のみにては海軍に合はず海軍直營の製鋼所の必要を感じ陸海軍共同でやつたらとの說もあつたが結局海軍は海軍として外にする事になり初めて吳に製鋼所を新設するに至つたのである大正四年御大典の當時自分も京都より歸京の折同列車中に松方公の乘つて居らるゝ事を聞いて敬意を表すべく車中に訪ふた時『あの製鐵所問題には大分心配したね』と當時の事を忘れず語られて居た位で物事に非常に熱心である

若い女の飛込自殺

二十七日午後九時頃京城驛官舍川路下で十八歲位の鮮女が路線に飛込み內股から腹部にかけて右足共切斷され顏其他に負傷を負ひ無慘の死を遂げた



バナナ（昌慶苑植物園の溫室にて）

王子劇場燒く
附近の三十戶も類燒　俳優六名行方不明

廿八日午前一時卅分東京府下王子町王子劇場より發火し同劇場始め附近卅餘戶を燒失した原因損害は目下取調中なるが劇場の附近に起居してゐた俳優竹村、野尻太郞夫婦は燒死し其他俳優六名は行方不明である（東京電報）

禁酒宣傳の行列
救世軍が三月六日から四日間に亘つて擧行

府內西大門町の救世軍本營では來る三月六日十一日十三日十六日の四日間毎日午後二時より五時半迄に亘つて本營より鐘路通りより京城驛を東大門までと龍山本營より漢江通り及驛前迄より南大門通りに於て男女六十名が禁酒宣傳の行列を催ふすと

週刊『內鮮問題』相愛會が發行

在京朝鮮人勞働相愛會に於て『內鮮問題』なる週刊新聞を創刊し三月一日創刊號を出す筈であるがその趣旨は云ふまでもなく內鮮兩民族の融和親善を圖るにある、夫れに就て先づ朝鮮の事情を內地人の一般に紹介して理解を與へることに努め又內鮮兩民族の親和を圖るについて內鮮の有力なる人々の意見を紹介して社會の輿論を喚起するに努むるとの事である（東京時事）

總人口二十八萬のうち無職ものが二十萬人
總數に對する有業者の步合は內地人三割九分朝鮮人二割六步
職業別に見た京城の人口

京城府の調査に係る大正十二年末現在府內居住者は內地人が七萬六千百八十八人、朝鮮人が二十萬七千四百九十六人、外國人が四千五百七十六人であるが是等の人間が如何なる職業に就き又如何はつて居るか又幾人の無職者があるかを見るに全體から云へば

主業者　內地人男一萬八千九百八十二人女二千百九十四人朝鮮人男四萬四千五百二十六人、女一千四百九十七人、外國人男二千三百四八、女二十三人

家族其他の有業者　內地人男五千二百六十一人、女一千八百十三人　朝鮮人男五千五百三十五人、女三千二百九十四人　外國人男九百四十五人

無業者　內地人男一萬四千七百七十八人、女三萬一千八百四十七人　朝鮮人男五萬七千四百十二人、女九萬五千六百二人　外國人男六百十六人、女六百四十八人

で內地人はその總數に對する有業者の步合が三割九分で朝鮮人は二割六分である而して之を各職業別に見れば

農林及牧畜業　內地人主業者男二〇六、女三二、家族其他で從業する者男四三、女六三、無業者男一〇六女二四七　朝鮮人、主業者男一、一一七、女一三八、その他從業者男一四三女四二、無業者男一、二〇五女二、一八一　外國人、主業者男一〇〇、女〇　其他の從業者男三三、女〇、無業者男三四、女二七

漁業及製鹽業　內地人主業者男三八、女〇、その他從業者男六、女六、無業者男二四、女五八　朝鮮人、主業者男二三、女三、その他從業者男七、女〇、無業者男二一、女七七　外國人なし

工業　內地人、主業者男四、二五四、女一〇三、其他從業者男一、一一四、女四〇、二三〇　朝鮮人、主業者男八、四四二、其他從業者男一、一八八、女七、二六八、無業者女二〇、二三〇　外國人、主業者男一、七五三、女〇、その他從業者男二七九、女〇、無業者男一五八、女一二五

商業及交通業　內地人主業者男六、四九三、女八八一、其他從業者男二、三九二、女一、七二二、無業者男四、一五八、女一〇、一四〇　朝鮮人、主業者男一九、四三七、女四八六、其他の從業者男一七五八、女一、〇六三、無業者男二三、三三六、女三九、四七四　外國人、主業者男一、三五九女一、その他從業者男五九〇、無業者男二四一、女二八七

公務及自由業　內地人主業者男七、〇〇一、女一、〇四〇、其他從業者男五九〇、無業者男二四一、女二八七　朝鮮人、主業者男一〇、八四一、女二四七、その他從業者男一、四三二、無業者男一、二九七、女一、六九五　外國人、主業者男一五一、女六二、其他從業者男一七、無業者男六五、女一五九

其他の事務　內地人、主業者男九九〇　女一三八、其他の從業者男一八三、女二四五、無業者男七三〇、女一、三六〇　朝鮮人、主業者男四、六六〇、女三五、その他從業者男五一、無業者男四、九〇五、女八、六六五　外國人、主業者男一三八、その他從業者男二六、無業者男二五、女一三

無職業及無申告　內地人男一、〇二五、女一、〇四二　朝鮮人男七、一〇四、女六、五三三　外國人男九三、女三七

奉天の馬賊は巡警
警察權の回收が急務と　片腹痛い支那側の言草

去る二十二日附屬地に侵入した馬賊四名のうち我警官に射殺された一名は支那巡警なることの確證があり總領事館から嚴重交涉中であるが支那側では彼は數日前巡警を免職された者で支那側に關係ないと白をきり嚴罰をかかる事件の起るは日本が附屬地に於ける警察權を獨占せるためであれば根本策として該附屬地の警察權を支那に回收するが急務であると御用新聞に叫ばしめて居るが日本側は徹底的に交涉の筈（奉天電報）

京城府民にはぼんやりが多い
交通事故の多い事　內地と比較にならぬ

京城府內の電車、自動車荷車等の事故に依る交通事故は相當數件宛太鼓の數を押したやうに繰返されて居るが當局では內地の大都市と京城との交通事故發生數を比較して見ると內地では電車の運轉數其他の數は遙に多いが割合に比較的事故の發生は少いやうであるが京城は仲々以て他から云へば遙かに多いこれは云ふまでもなく一般公衆が交通道德の觀念に乏しいのに基因して居る、例へば電車交叉點を通行するに際して通行者は周圍を省みて速度を緩める自轉車の運轉者も注意を怠らぬ、電車の進行して來たのを直ぐ目の前にしながら前方を橫斷して危く失敗を演ずることがあるこれなどは運轉手の過失もあるが一面から云へば被害者にも充分の過失はあるから自他の危險を想ひ起して注意をして步くことだと語つた

松井大尉の釋放交涉
芳澤公使から　カ氏に當る？

浦鹽に於ける松井大尉等の拘禁につき取敢ず渡邊領事より國民軍保安部長ハノヴィン氏に交涉したが其の後の事情に就ては其筋に報告がない多分國民軍の一部として事としての職務行使を否認して居る關係上直接面目に交涉には應じないかも知れぬ依つて北京に於て芳澤公使がカラハン氏に交涉して釋放手段を採る事となるであらうと（東京電報）

死體十三個
入山炭坑で發掘

瓦斯爆發火災に罹つた福島縣入山炭坑より二十八日十三名の死體を發掘した（福島電報）

張作霖氏誕生祝賀
名俳優の演劇と提灯行列

三月十七日は張作霖氏の誕生日に相當する爲め各大官聯合の總代として天津方面より名俳優を招聘し三日間公演し市民は提灯行列をなし祝意を表すと（奉天電報）

執務改善デーに鐵道從業員居眠り
驛長以下驛員全部が

去る二十日から二十九日迄執務改善デーと稱して鐵道從業員の改善を企てた宇都宮運輸事務所管內西毛線オモイ川驛で二十八日午前三時四十七分五百三十二號列車が小山驛發オモイ川驛構內に入り…

第二回　婦人歌留多大會

期日　來る三月二日（日曜日）午前十時より

場所　黃金町武德會館階上

會費　無料（飛入の方を歡迎致します）

主催　京城日報社

本社主催婦人歌留多會
期日が切迫して來た
競技は三回の後優勝戰　參觀は婦人に限る　賞品の外副賞品澤山あり

本社主催第二回婦人歌留多會はいよいよ期日が切迫して來た、期日迫るにつれて其處此處で例の好いお友達同志が集つて熱心に稽古を積んでゐます、當日は成るべく早く終るやうに午前の集會時間を午前十時を勵行したいと思ひます、午後は凡そ六時頃には閉會の運びにし度いと思ひます、當日參觀の方は女性の方に限ります、競技は三回の豫選後優勝戰まで繼續することに致します、賞品は一等婦人用金ピン、以下無數の趣味ある贈品が澤山ございます、競技規則は東京かるた會の分を適用し優勝の際は當日各會から出席する審判諸氏の合議で之は決定する事に致します、多數の選手と參觀者の來臨を歡迎致します

人蔘製劑では一も二もなく總督府專賣局製『蔘精』を

蔘精

內鮮一手販賣元　賣捌元　京城本町二丁目　振替京城一三八番　電話本七六一番

少女を凌辱
懲役五年求刑

府內新町遊廓の妓夫をしてゐる鐘路一丁目韓甲植（三〇）は昨年八月二十二日午前二時頃獎忠壇の松林に九歲の少女を連れ込み二十五錢を與へて凌辱し裂傷を負はせた上淋病黴毒を感染せしめ治療二年を要する病者となした事件は二十八日京城地方法院永島裁判長係で傍聽禁止で公判を開廷されたが檢事は之に對して懲役五年を求刑した被害者なる少女の娘は貰つた二十五錢の金は何うしたかと問に對してその歸途に菓子を買つて食べたと申立てゝゐたと

電車で掏らる

忠南洪城面生れ姜貞鎬（三〇）は二十八日午後七時頃京城驛より黃金町一丁目迄の電車內で所持金八十圓を何者にか掏り取られたと本町署へ屆出た

明太魚を盜む

當時住所不定の金千熙（四〇）は二十八日午前五時半頃南米倉町南大門市場で明太魚一箱を窃取したこと本町署に發覺檢擧された

漢江通小火

漢江通三番地五九菓子製造所加納之方菓子製造室から發火したが幸に大事に到らず鎭火し損害五圓見當である

第二回『面白い懸賞』
詳細は六面に掲載してあります

藝者あげて散財
醫業學校の生徒

…校生徒十餘名は數日前より騷立を上げて放蕩し飲酒騷擾を極めて居る事實發見し櫻井太郎（二〇）外十名を無期停學に處した（神戶電報）

親の金で放蕩
結局執行猶豫

府內南道東鮮組鐵工某の二男某（二〇）は飛行家にならうと思ひ立ち昨年二月內地に渡り飛行學校に入學しやうとした處が學資金が二千圓入るとの事に、…

十八娘の窃盜
裁縫見習の女

府內若草町二二九番地野澤松枝（一八）は昨年十二月頃より本年一月中旬迄の間に主家の金指環、衣類十點を窃取したことを發見され二十七日本町署に突き出された

青葉會送別會

…の有志を以て組織せる青葉會では今回歐米へ出張を命ぜられた總督府醫院長志賀博士並に總督府會計課長の兩氏を二十九日午後五時から京城ホテルに招待盛大なる送別會を開催する筈であると

演藝案內

喜樂館　京城本町一丁目　電話九七九番　廿五日より超努級映畫週間　パテー週報二十六號　深刻なる秋序悲劇　ドイツヒ映畫　怪奇活劇探偵冒險　夜半の晩餐　七卷　江戶の大震　五卷

中央館　マキノ映畫　毎日晝夜　人情劇　建國の美姬　五卷　哀話　魔焰の消ゆる頃　五卷　第三篇　燃ゆる渦卷　七卷　大活劇　足跡　五卷

大正館　松竹共營　毎日晝夜　寫眞劇　毒塵　全六卷　ニコノゝ成金軍事　大活劇突貫　活劇　雪中に飛ぶ肉彈　全五卷　◎松竹キネマ下加茂特作　現代悲劇　山中小唄　全五卷

京龍館　電話龍山三一番　人情劇　建國の美姬　五卷　哀話　魔焰の消ゆる頃　五卷　燃ゆる渦卷　七卷

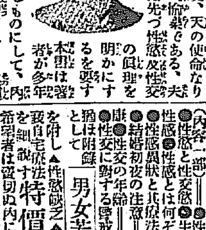
浪花館　明治町　來る三月二十九日午後六時より　特別大興行　山本雲太郎一行來る　安來節　出雲踊　大會　花形揃

黃金館　常キネ共營　毎日晝夜　二月二十四日より　特撰名畫大會　時代劇　大江戶の武士　全四卷　正喜劇　結婚は失敗か　七卷

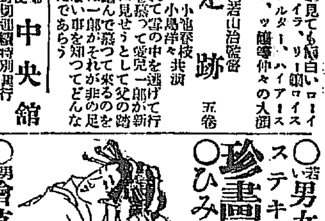
只今到著臨時謹寫　東宮同妃殿下　山田驛御到著　內宮外宮御參拜　京都驛御著　大宮御所入御　溫泉情話　山中小唄　松竹蒲田　加茂特作　初日二日滿員御禮　大正館

性學大家澤田順次郎先生著　男女　性慾及性交の新研究　四六判洋裝美本

性に悶ゆる青年男女よ！一讀解決の鍵を得よ！



東京麻布富士見町六　正文社



○若い男女がこれは珍ステキと喜ぶ！　珍書と珍畫　○ひみつ寫眞　○男女繪草紙　○新婚の夜　○たのしみ草紙　○九拾錢　東京市外西谷區本村町一三　花山堂

料理　仁川宮町　西洋　東洋軒　電話三一九番

眼鏡專門　本町二丁目　大學堂本店

御料理　安東縣　太陽樓　電話七三番

御料理　安東縣　由良之助　電話二五九番

…向學心は近時著しく高まり…多數の官公立の諸學校が…込されてゐるが、とても彼等の…末日の私立學校を調べてみると…數六百六十校であつて其內宗教を加味した學校が二百七十三校一般…

不逞輩取押　平南大同郡で

…ので同署では直に非常召集を行ひ同一時三十分より高等係長以下十一名の警官は不逞輩よりの應援隊…[illegible]

埼玉の…

…[illegible]…

第一回懸賞 京龍デ 此十八軒ノ會社、商店ノ屋號ハ何ト云ヒマスカ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

第一回 面白い懸賞

一、寫眞は京龍間（本町、明治町、南大門通、太平通、長谷川町、黄金町、永樂町、鍾路通、漢江通）に於ける主なる會社、商店十八軒であります

一、締切は三月十日最終便の日附印あるもの迄

一、正解者多數の場合は警察官立會の上抽籤に依り等級を定め左記賞品を呈します

一、發表　三月十五日紙上

一、宛名　京城太平通　京城日報社懸賞係

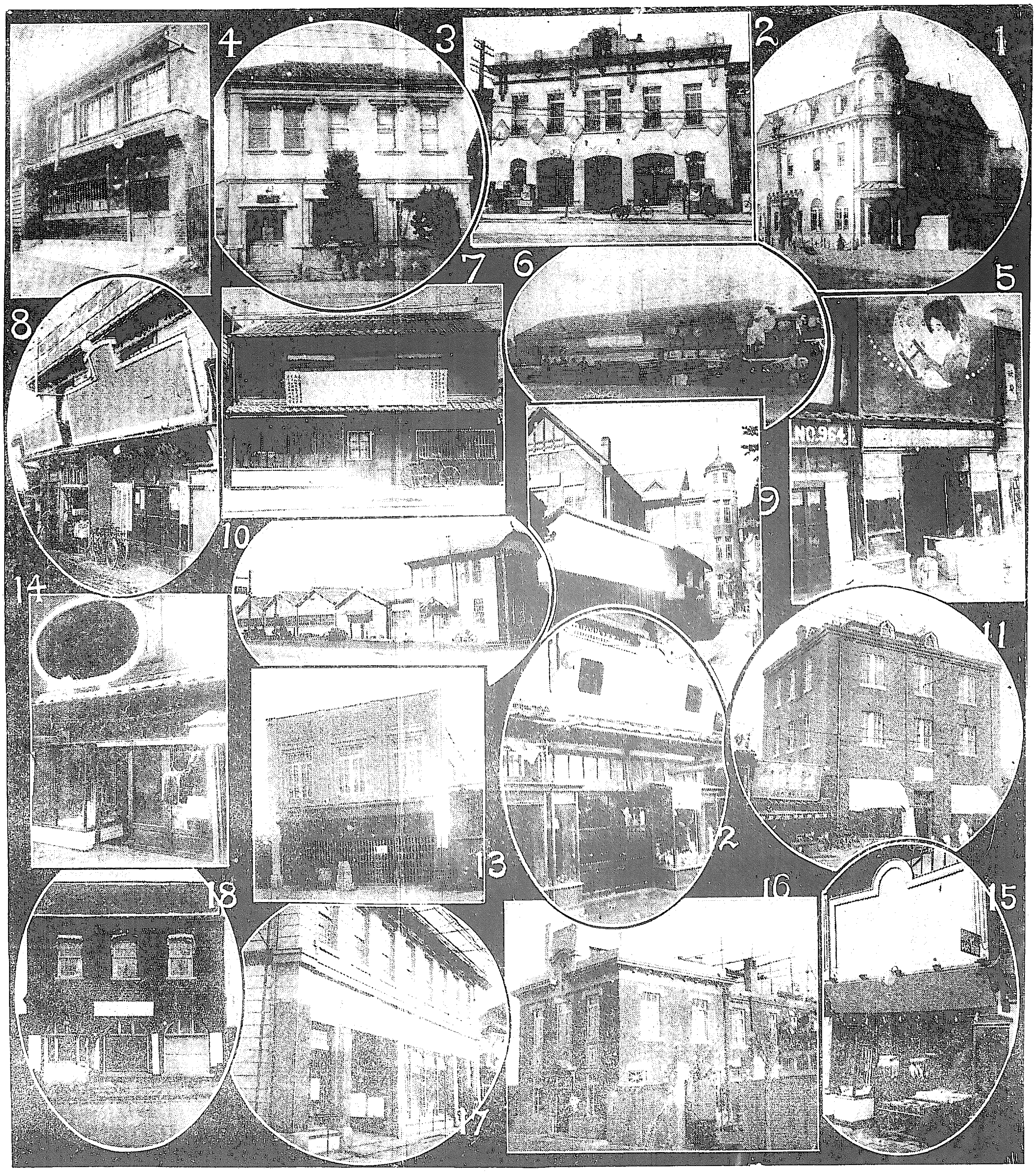
賞品

壹等　十圓勸業債券　一枚宛　三人

貳等　カテイ石鹼　三個入一箱宛　三十五人

切取線

懸賞回答用紙

住所

氏名